

平成28年度業務報告目次

1	埼玉県産業技術総合センター概要	1
1.1	沿革.....	1
1.2	組織と事務分掌.....	2
1.3	職員.....	3
1.4	所在地、土地建物.....	4
1.5	会計.....	5
1.6	貸会議室等.....	6
1.6.1	多目的ホール、会議室の使用料等.....	6
1.6.2	多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数.....	6
1.6.3	多目的ホール、会議室の利用者別利用件数.....	6
1.6.4	多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数.....	6
1.7	試験研究設備の整備状況.....	7
2	技術支援	8
2.1	技術相談・技術指導.....	8
2.1.1	職員による技術相談・技術指導.....	8
2.1.2	技術アドバイザー指導事業.....	10
2.1.3	現場改善・製品化支援事業.....	11
2.2	依頼試験.....	12
2.2.1	依頼試験.....	12
2.2.2	放射線測定依頼試験.....	13
2.2.3	試験所の登録.....	13
2.3	機器開放.....	14
2.3.1	機器開放.....	14
2.3.2	機器操作技術認定研修.....	15
2.4	スマートものづくり基盤構築事業.....	15
2.4.1	スマートものづくり支援プロジェクト協力事業.....	15
2.4.2	生産管理IoT化のための実証環境整備(SAITEC 実証試験ラボ).....	15
2.4.3	物流管理システム導入のための試験環境整備.....	15
2.4.4	IoT利用技術研究会.....	15
2.4.5	地方版IoT推進ラボの認定.....	15
2.5	ナノカーボンプロジェクト推進事業.....	15
2.6	培養酵母の頒布.....	16
3	研究開発	17
3.1	研究開発.....	17
3.1.1	政策的研究課題.....	17
3.1.2	受託研究等.....	18
3.1.3	委託研究開発.....	18
3.1.4	科学研究費助成事業(科研費).....	19
3.2	研究開発及び技術支援による実用化・商品化.....	20
3.3	客員研究員.....	20
3.4	研究成果の公表.....	21
3.4.1	センター主催の発表.....	21
3.4.2	学会等への発表(国際会議含む).....	22
3.5	研究課題の評価.....	24
3.5.1	事前評価.....	24
3.5.2	事後評価.....	24
3.5.3	中間評価.....	24

4	研究開発支援	25
4.1	産学官連携の推進	25
4.1.1	産学官連携推進について	25
4.1.2	産学官連携関連展示会(主催事業)	25
4.1.3	産学官連携に関連する展示会	26
4.2	助成制度への取り組み	27
4.2.1	研究開発型企業支援事業.....	27
4.2.2	埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績.....	27
4.2.3	次世代型ものづくり製品開発支援事業	27
4.3	特許の取得推進とその活用.....	28
4.3.1	産業財産権の一覧.....	28
4.3.2	実施許諾	30
5	交流	31
5.1	異業種交流支援事業.....	31
5.1.1	産学官交流プラザ.....	31
5.1.2	埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼北ネット)	31
5.1.3	さきたま利根テクノプラザ(STTEP)	32
5.2	新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催).....	33
5.2.1	鋳物技術委員会	33
5.2.2	埼玉県ものづくり研究会	33
5.2.3	埼玉県熱処理技術研究会	33
5.2.4	品質工学フォーラム埼玉(QEF 埼玉).....	33
5.2.5	埼玉県米菓研究会.....	33
5.2.6	清酒製造技術研究会	33
5.3	首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】	34
5.3.1	首都圏公設試連携推進会議の開催 2回(第52回～第53回).....	34
5.3.2	首都圏公設試連携推進会議(TKFオープンフォーラム)の開催(第10回).....	34
5.3.3	研究発表者相互派遣事業.....	34
5.3.4	産業交流展 2016 への参加	35
5.3.5	パートナー・グループ事業	35
5.3.6	TKFミニインターンシップ事業	35
5.3.7	広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP)	36
5.3.8	平成 28 年度経済産業省補正予算事業 「地域新成長産業創出促進事業費補助金(地域未来投資の活性化のための基盤強化事業)」.....	36
5.4	RINGS NET (新潟、群馬、埼玉 3 県公設試連携)	37
5.4.1	担当分野別交流会等の開催.....	37
5.5	講演会等講師派遣	38
5.6	審査会等への派遣	40
5.7	技術評価.....	41
5.8	会議等への参加	42
5.9	次世代自動車支援事業の運営支援	47
5.9.1	部会及び各研究会参加企業数	47
5.9.2	研究会等の名称及び担当者一覧表.....	47
5.9.3	各研究会の概要	47
6	情報提供	48
6.1	技術普及業務.....	48
6.1.1	SAITEC オープンラボ	48
6.1.2	SAITEC 北部研究所研究発表会	48
6.1.3	研究報告	48
6.2	利用促進.....	49
6.2.1	業務報告	49
6.2.2	インターネットによる技術情報の提供.....	49

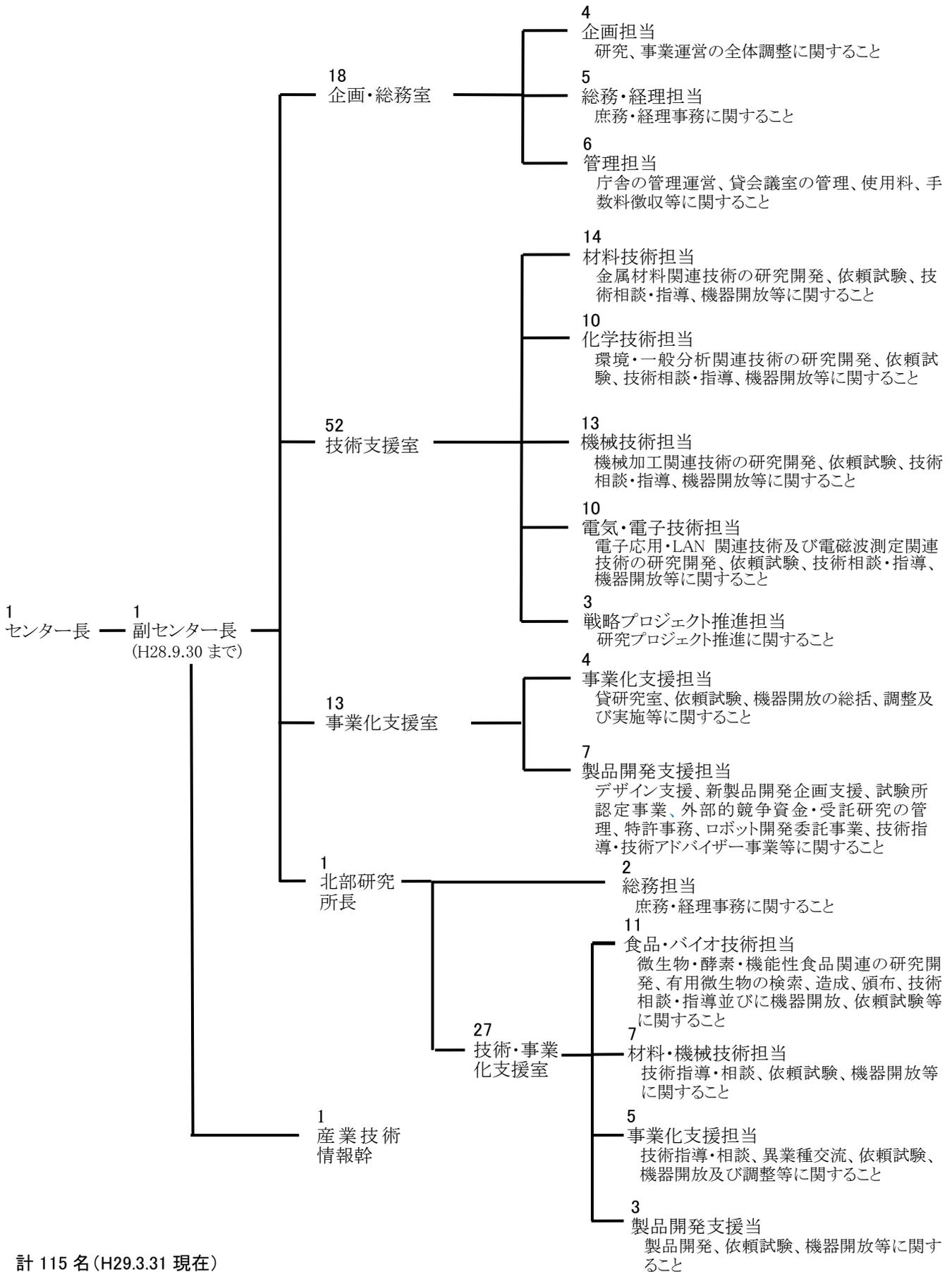
6.2.3	記者発表	49
6.2.4	マスメディア報道	49
7	起業化支援	51
7.1	入居企業	51
7.2	支援実績	51
8	人材育成	52
8.1	研修生の受け入れ	52
8.1.1	中小企業等研究者養成研修事業	52
8.1.2	インターンシップ事業	52
8.1.3	平成 28 年度 製造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ	53
8.1.4	その他研修生	53
8.2	技術講習会、講演会等の開催	53
8.3	技術競技会	58
8.3.1	埼玉県 製造技術コンクール	58
8.3.2	平成 28 年度(第 59 回)埼玉県めっき技術競技会	59
8.3.3	平成 28 酒造年度春季清酒鑑評会	59
8.4	科学技術体験学習の実施	60
8.4.1	スーパーサイエンスハイスクール事業	60
9	その他の事業	61
9.1	職員研修	61
9.2	運営委員会の開催	64
9.2.1	開催状況	64
9.2.2	運営委員	64

1 埼玉県産業技術総合センター概要

1.1 沿革

大正10年	埼玉県熊谷工業試験場設立、庶務部、染色部及び機織部の3部を設置
大正11年	整理部を増設し4部となる
大正12年	図案部を増設し5部となる
昭和 5年	醸造部を増設し(昭和21年に技術部に改称)6部となる 埼玉県秩父工業試験場設立、熊谷工業試験場の機織部及び図案部を移転
昭和 6年	埼玉県熊谷工業試験場浦和分場を設置し整理部を移転
昭和 8年	埼玉県川口鋳物工業試験場設立
昭和 9年	浦和分場を埼玉県染色試験場と改称し熊谷工業試験場の染色部を移転、 熊谷工業試験場は名称を埼玉県醸造試験場と改称
昭和11年	埼玉県小川製紙研究所設立
昭和12年	埼玉県仏子染織指導所設立 埼玉県秩父工業試験場を埼玉県秩父染織指導所と改称 埼玉県川口鋳物工業試験場を埼玉県川口重工業指導所と改称 埼玉県醸造試験場に染色部を再設置し(昭和18年に廃止)、埼玉県熊谷醸造指導所と改称 埼玉県小川製紙研究所を埼玉県小川製紙指導所と改称
昭和19年	埼玉県熊谷醸造指導所を埼玉県醸造指導所と改称 埼玉県秩父染織指導所を埼玉県秩父工業指導所と改称 埼玉県仏子染織指導所を埼玉県繊維工業指導所と改称 埼玉県小川製紙指導所を埼玉県製紙工業指導所と改称
昭和20年	埼玉県川口重工業指導所を埼玉県鋳物指導所と改称
昭和24年	埼玉県行田繊維工業指導所設立
昭和31年	埼玉県醸造指導所を埼玉県醸造試験場と改称 埼玉県秩父工業指導所を埼玉県秩父繊維工業試験場と改称 埼玉県繊維工業指導所を埼玉県繊維工業試験場と改称 埼玉県行田繊維工業指導所を埼玉県行田繊維工業試験場と改称 埼玉県製紙工業指導所を埼玉県製紙工業試験場と改称 埼玉県鋳物指導所を埼玉県鋳物工業試験場と改称
昭和36年	埼玉県デザインセンターを大宮市の埼玉県商工会館内に設置
昭和38年	埼玉県鋳物工業試験場を川口市本町から川口市芝に移転し、埼玉県鋳物機械工業試験場と改称
昭和42年	埼玉県工芸試験場を浦和市に設立、デザインセンターを廃止
昭和47年	醸造試験場の建設工事竣工、埼玉県食品工業試験場と改称
昭和58年	埼玉県工芸試験場を埼玉県工業技術研究所に改称 埼玉県行田繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場に、埼玉県繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場入間支場に、埼玉県秩父繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組
平成 7年	鋳物機械工業試験場において、新技術事業団(現 (独) 科学技術振興機構)及び科学技術庁金属材料研究所との共同研究を開始するため、新技術事業団埼玉研究室及び新技術事業団のプレハブ実験棟を設置
平成10年	5研究機関7施設を再編・統合し、埼玉県工業技術センター設立 本所(川口市・旧鋳物機械工業試験場)、南部研究所(浦和市・旧工業技術研究所)及び北部研究所(熊谷市・旧食品工業試験場)の3施設を設置
平成15年	埼玉県工業技術センターを廃止し、埼玉県産業技術総合センター設立 埼玉県産業技術総合センター(川口市)及び埼玉県産業技術総合センター 北部研究所(熊谷市・旧埼玉県工業技術センター北部研究所)の2施設を設置

1.2 組織と事務分掌



1.3 職員

センター長 (事)	中 村 雅 範
副センター長 (事) (平成 28 年 9 月 30 日まで)	鈴 木 康 之
産業技術情報幹(事)	柿 間 淳

◆本 所

企画・総務室		室 長 (事)	正 能 修 一
副 室 長 (技)	小 口 正 浩	副 室 長 (事)	五 百 扇 久 男
企画担当		担 当 部 長 (技)	宇 野 彰 一
専 門 研 究 員 (技)	田 中 英 次	主 任 (技)	蓮 俊 介
技 師	佐 藤 優		
総務・経理担当		担 当 課 長 (事)	倉 知 靖 博
主 任 (事)	竹 井 浩 子	主 任 (事)	島 村 洋 子
嘱 託 (非常勤)	武 田 祐 子	嘱 託 (非常勤)	清 水 智 映
管理担当		担 当 部 長 (事)	清 野 敦 史
主 任 (事)	田 川 英 昭	嘱 託 (非常勤)	阿 満 誠 一 郎
嘱 託 (非常勤)	斉 藤 留 美	嘱 託 (非常勤)	橋 本 章 世
嘱 託 (非常勤)	芳 賀 祐 子		
技術支援室		室 長 (技)	關 根 正 裕
副室長(兼)戦 略プロジェクト (技)	福 島 泰 年		
材料技術担当		担 当 部 長 (技)	永 野 正 明
専 門 研 究 員 (技)	飽 津 彰	専 門 研 究 員 (技)	矢 澤 貞 春
専 門 研 究 員 (技)	清 水 宏 一	専 門 研 究 員 (技)	木 村 晋 利
専 門 研 究 員 (技)	常 木 裕 己	主 任 (技)	菊 池 和 尚
主 任 (技)	和 田 健 太 朗	主 任 (技)	原 田 雅 典
技 師	廣 島 啓 太	技 師	大 澤 直 幸
技 師	小 林 達 哉	専 門 員 (技)	澁 谷 康 彦
専 門 員 (技)	永 井 寛		
化学技術担当		担 当 部 長 (技)	鈴 木 昌 資
主 任 研 究 員 (技)	奥 野 慎	主 任 研 究 員 (技)	熊 谷 知 哉
専 門 研 究 員 (技)	佐 野 勝	専 門 研 究 員 (技)	灘 野 朋 美
専 門 研 究 員 (技)	坂 本 大 輔	主 任 (技)	須 川 真 希 代
主 任 (技)	小 澤 真 希 枝	技 師	伊 藤 幸 希
技 師	焼 田 裕 之		
機械技術担当		担 当 部 長 (技)	出 口 貴 久
主 任 研 究 員 (技)	小 熊 広 之	専 門 研 究 員 (技)	南 部 洋 平
専 門 研 究 員 (技)	島 崎 景 正	主 任 (技)	山 田 岳 大
主 任 (技)	増 子 陽 一	主 任 (技)	落 合 一 裕
主 任 専 門 員 (技)	町 田 芳 明	技 師	長 野 隼 人
技 師	内 藤 理 恵	技 師	岩 崎 翼
技 師	宮 崎 智 詞	技 師	佐 藤 宏 惟
電気・電子技術担当		担 当 部 長 (技)	安 藤 昌 弘
専 門 研 究 員 (技)	能 戸 崇 行	専 門 研 究 員 (技)	鈴 木 浩 之
主 任 (技)	本 多 春 樹	主 任 (技)	森 田 寛 之
技 師	鈴 木 啓 介	技 師	香 西 良 彦
技 師	杉 山 和 樹	技 師	横 森 千 博
技 師	山 崎 彰 太		
戦略プロジェクト推進担当		専 門 研 究 員 (技)	栗 原 英 紀
主 任 (技)	半 田 隆 志	技 師	稲 本 将 史

事業化支援室		室 長 (技)	細 野 光 広
副 室 長 (技)	戸 枝 保		
事業化支援担当		担 当 部 長 (事)	新 船 孝 子
主任専門員 (技)	齊 藤 弘 美	専 門 員 (技)	高 柳 博 通
専 門 員 (技)	宮 原 進		
製品開発支援担当		担 当 部 長 (技)	卷 島 秀 男
主任研究員 (技)	荻 野 重 人	専 門 研 究 員 (技)	山 川 徹 郎
主任専門員 (技)	影 山 和 則	技 師	岡 林 美 由 貴
技 師	中 澤 赳 史	技 師	増 渕 維 摩

◆北部研究所

所 長 (技)	増 田 伸 二		
総務担当		担 当 課 長 (事)	栗 藤 勤
専 門 員 (事)	玉 置 守		
技術・事業化支援室		室 長 (技)	小 島 登 貴 子
食品・バイオ技術担当		主任研究員 (技)	横 堀 正 敏
専 門 研 究 員 (技)	細 井 永 次	専 門 研 究 員 (技)	仲 島 日 出 男
主 任 (技)	常 見 崇 史	主 任 (技)	樋 口 誠 一
主 任 (技)	富 永 達 矢	主 任 (技)	海 野 ま り え
主 任 (技)	飯 塚 真 也	技 師	成 澤 朋 之
技 師	鈴 木 康 修	技 師	齋 藤 健 太
材料・機械技術担当		担 当 部 長 (技)	小 林 茂
専 門 研 究 員 (技)	井 上 裕 之	専 門 研 究 員 (技)	秋 山 稔
主 任 (技)	関 根 俊 彰	主 任 (技)	鈴 木 理 博
技 師	鳥 羽 遼 子	技 師	笠 原 章 裕
事業化支援担当		担 当 部 長 (技)	中 島 規 之
専 門 員 (技)	北 村 英 三	専 門 員 (技)	竹 内 了
専 門 員 (技)	清 水 英 明	専 門 員 (技)	山 口 葉 子
製品開発支援担当		担 当 部 長 (技)	高 橋 広 子
主任研究員 (技)	原 田 勝 利	主 任 (技)	山 川 翔 平

(H29.3.31 現在)

1.4 所在地、土地建物

◆ 埼玉県産業技術総合センター

所在地 川口市上青木三丁目12番18号

土地 18,352.58 平方メートル

建物

埼玉県産業技術総合センター 27,287.63 平方メートル

埼玉県生活科学センター 4,420.30 平方メートル

川口市立科学館 3,784.61 平方メートル

合 計 35,492.54 平方メートル

構造 地上9階/地下1階

◆ 北部研究所

所在地 熊谷市末広二丁目133番地

土地 5,923.30 平方メートル

建物

本 館 1,687.92 平方メートル

試験棟 494.27 平方メートル

新 館 602.84 平方メートル

試験棟 312.86 平方メートル

その他 73.60 平方メートル

合 計 3,171.49 平方メートル

1.5 会計

◆歳入

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
使用料及び手数料	221,082,327	21,259,389	242,341,716
使用料	148,068,147	6,993,919	155,062,066
総務使用料	39,569,854	463,829	40,033,683
商工使用料	108,498,293	6,530,090	115,028,383
手数料	73,014,180	14,265,470	87,279,650
商工手数料	73,014,180	14,265,470	87,279,650
財産収入	14,739,697	761,500	15,501,197
財産運用収入	14,730,833	0	14,730,833
財産貸付収入	14,730,833	0	14,730,833
財産売払収入	8,864	761,500	770,364
物品売払収入	8,864	48,000	56,864
生産物売払収入	0	713,500	713,500
諸収入	37,015,786	181,000	37,196,786
受託事業収入	12,490,200	0	12,490,200
商工受託事業収入	12,490,200	0	12,490,200
雑入	24,525,586	181,000	24,706,586
違約金及び延納利息	1,342	0	1,342
雑入	24,524,244	181,000	24,705,244
合 計	272,837,810	22,201,889	295,039,699

◆歳出

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
総務費	38,059,189	458,726	38,517,915
総務管理費	266,480	458,726	725,206
一般管理費	161,870	40,000	201,870
人事管理費	104,610	52,606	157,216
財産管理費	0	366,120	366,120
県民費	37,792,709	0	37,792,709
消費者対策費	37,792,709	0	37,792,709
商工費	623,348,153	58,709,531	682,057,684
商工業費	623,348,153	58,709,531	682,057,684
商工総務費	3,922,086	3,168,140	7,090,226
商工振興費	93,221,863	599,864	93,821,727
産業技術総合センター費	526,204,204	54,941,527	581,145,731
農業費	0	291,361	291,361
農林水産業費	0	291,361	291,361
農業研究費	0	291,361	291,361
合 計	661,407,342	59,459,618	720,866,960

1.6 貸会議室等

1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等

(円)

階	区分 施設名	面積 (m ²)	定員 (人)	午 前	午 後	夜 間	超 過 (1時間)
1	多目的ホール2	273.92	170	8,720	11,600	8,720	2,900
3	3A会議室	66.46	30	2,100	2,810	2,100	690
3	3B会議室	66.46	30	2,100	2,810	2,100	690
4	4A会議室	66.46	33	2,100	2,810	2,100	690
4	4B会議室	66.46	33	2,100	2,810	2,100	690
4	4C会議室	70.92	33	2,250	3,000	2,250	750

1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数

	利用件数(件)				利用人数(人)			
	午 前	午 後	夜 間	計	午 前	午 後	夜 間	計
多目的ホール1	122	166	74	362	22,498	23,472	14,545	60,515
多目的ホール2	118	164	83	365	23,277	23,902	15,376	62,555
3A会議室	93	139	81	313	13,729	14,481	9,506	37,716
3B会議室	90	137	70	297	13,625	14,150	8,938	36,713
4A会議室	117	170	72	359	5,559	5,868	2,772	14,199
4B会議室	112	163	69	344	5,623	5,998	3,120	14,741
4C会議室	72	114	44	230	4,159	4,485	2,335	10,979
合 計	724	1,053	493	2,270	88,470	92,356	56,592	237,418

1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数

	県	川口市	その他 官公庁	公社 公団	入居商 工団体	他の商 工団体	民間 事業所	その他	合計
件 数	234	215	331	16	176	19	939	340	2,270
百分比(%)	10.3	9.5	14.6	0.7	7.8	0.8	41.4	15.0	

1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数

	会議	研修会	講演会	大会	展示会	その他	合計
件 数	391	323	91	92	271	1,102	2,270
百分比(%)	17.2	14.2	4.0	4.1	11.9	48.5	

1.7 試験研究設備の整備状況

新規購入機械器具

品名	数量	銘柄・規格等	設置場所
産業用 X 線 CT 装置	1	東芝 IT コントロールシステム(株) TOSCANER-34500FD	本 所
インクジェット式積層造形装置※1	1	ストラタシス社 OBJET260_CONNEX3	本 所
ICP発光分光分析装置	1	SPECTRO社 ARCOS FHM22	本 所
倒立型金属顕微鏡	1	ライカマイクロシステムズ(株) DMi8A	本 所
ビデオ式非接触伸び計	1	(株)島津製作所 TRViewX800D	本 所
実体顕微鏡	1	(株)ハイロックス CX-MACROZ_VI	本 所
ミニ卓上旋盤	1	FL350E メカニクス スーパーAタイプ	本 所
レーザー変位計※2	1	パナソニック(株) HL-C203B-MK、HL-C2C	本 所
リニアエンコーダー※2	1	レニシヨー リッドヘッド・インターフェース・ガラススケール	本 所
熱プレス機	1	テスター産業(株) SA-303 卓上型二段テストプレス	本 所
エネルギー分散型 X 線検出器	1	日本電子(株) JED-2300	本 所
ゼータ電位測定装置	1	(株)堀場製作所 ナノ粒子解析装置_SZ-100-Z	本 所
工場検証システム	1	FA システム・小型コンベアキット・温度調節キ ット・配線回路基板出力加工装置・システ ム設置台	本 所
ネットワークスイッチ	2	QX-S5524GT-4X2Q, QX-S5732P	本 所
ファイアーウォール	1	FortiGate 100D,500D	本 所
タワー型サーバー	1	NEC Express_5800/T120g	本 所
デジタルマルチメータ	1	Keysight 34470A	本 所
ロックインアンプ	1	(株) エヌエス回路設計ブロック LI5640	本 所
シーケンス制御ユニット	2	三菱電機 FA-T-P01	本 所
性能評価試験装置	1	Mini Test 3000A	本 所
液体クロマトグラフ質量分析装置	1	アジレント・テクノロジー(株) 6120_Single_Quadrupole_LC/MS システム	北部研究所
3D 計測システム	1	MakerBot 社 MP0825、Digitizer_MP05705	北部研究所
冷凍機能付き インキュベーター	2	パナソニック(株) MIR-154-PJ	北部研究所
全焦点3D形状測定機用チャック	1	alicona 社 INFINITE FOCUS G5 用 ChuckAdapter VP	北部研究所
ビーズ粉碎機	1	タイテック(株) μ T-12	北部研究所
帯鋸切断機	1	(株)やまびこ RB180FV-HR	北部研究所
微量成分抽出濃縮器	1	(有)桐山製作所 桐山 SAFE 濃縮器	北部研究所
オートクレーブ	1	(株)トミー精工 SX-500	北部研究所
ポータブル pH メーター	1	(株)堀場製作所 D-71AL	北部研究所
ミニデッキオープン	1	(株)マルゼン MBDO-D5E	北部研究所
架台ホイロ	1	(株)マルゼン MBKH-5-B	北部研究所
パワーミル	1	PM-2005m	北部研究所

※1 公益財団法人 JKA の「公設試験研究所設備拡充補助事業」による

※2 公益財団法人 JKA の「公設工業試験研究所等における共同研究補助事業」による

2 技術支援

中小企業の技術支援のため、技術相談・技術指導、企業からの依頼に応じた依頼試験、試験研究機器の開放等を行うとともに、スマートものづくり基盤の構築を支援した。

2.1 技術相談・技術指導

中小企業の生産活動における技術的問題の解決、新製品や新商品の開発等を支援するため、当センター職員による相談・指導及び外部の技術専門家、技術アドバイザー等による技術相談・指導を実施した。

2.1.1 職員による技術相談・技術指導

◆本所

分類	項目	相談件数
機械関連	切削に関すること	1,300
	特殊加工に関すること	1,405
	設計に関すること	75
	精密測定に関すること	2,311
鋳物関連	鉄鋳物に関すること	181
	非鉄鋳物に関すること	119
	鋳型・鋳造方案に関すること	50
	鋳物不良対策に関すること	71
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	84
	腐食、防食に関すること	329
	熱処理に関すること	48
	塗装技術に関すること	6
材料試験・組織等	成分分析(金属)に関すること	456
	成分分析(非金属)に関すること	1,723
	材料強度等に関すること	681
	材料の物性、工業規格に関すること	576
	顕微鏡組織観察等に関すること	732
	材料のクレーム対策に関すること	59
	非破壊検査に関すること	156
電気・電子・制御関連	自動化、省力化に関すること	51
	制御技術に関すること	69
	電気、電子技術に関すること	2,621
窯業関連	窯業(製造)技術に関すること	2
	セラミックス技術に関すること	23
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	471
	接着・複合化技術に関すること	27
デザイン関連	商品企画に関すること	62
	プロダクトデザインに関すること	102
	グラフィックデザインに関すること	20
福祉技術関連	福祉・リハビリテーション用具に関すること	236
環境技術関連	再資源化に関すること	1
	廃棄物処理に関すること	5
	環境等に関すること	2
	環境浄化技術に関すること	18
	省エネ技術に関すること	2
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	69
	機器操作に関すること	110
	製品開発に関すること	121
	生産技術に関すること	20
	材料・製品試験に関すること	2,619
	講習会、研修会等に関すること	76
	アドバイザー指導等に関すること	194
	異業種交流に関すること	26
	情報検索に関すること	12
	特許に関すること	53
	制度融資、補助金等に関すること	184
	その他上記以外の事項	430
計 (うち実地指導件数)		17,988 (2,735)

◆北部研究所

分類	項目	相談件数
分析関連	組成・物性に関すること	70
	素材分析に関すること	26
	成分分析(金属)に関すること	3
	成分分析(非金属)に関すること	20
繊維・デザイン関連	染色加工等に関すること	5
	印刷技術に関すること	0
	染色堅ろう度等に関すること	51
	型紙調整等に関すること	0
	デザイン等に関すること	251
食品関連	酒類の製造に関すること	459
	穀類食品の製造に関すること	144
	調味料の製造に関すること	20
	漬物の製造に関すること	22
	その他食品の製造に関すること	99
	食品成分に関すること	113
	食品素材に関すること	81
	微生物・酵素に関すること	410
	食品分析に関すること	374
素材関連	原材料・薬剤・原料調整に関すること	6
	素材の応用技術に関すること	54
設計・生産関連	切削に関すること	0
	特殊加工(機械等)に関すること	0
	設計に関すること	0
	精密測定に関すること	161
	生産技術(機械等)に関すること	0
	材料・製品試験(機械等)に関すること	8
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	5
	腐食・防食に関すること	8
	熱処理に関すること	7
	塗装技術に関すること	2
材料試験・組織等	材料の強度等に関すること	178
	材料の物性・工業規格に関すること	15
	顕微鏡組織観察等に関すること	176
	材料のクレーム対策に関すること	6
	非破壊検査に関すること	4
環境技術関連	再資源化に関すること	0
	省エネ技術に関すること	0
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	21
	機器操作に関すること	66
	コンピュータ等に関すること	7
	講習会・研究会・鑑評会に関すること	147
	技術アドバイザー指導等に関すること	2
	異業種交流に関すること	44
	法規・規格・表示に関すること	1
	産業情報等の提供に関すること	7
	行政情報等の提供に関すること	11
その他上記以外の事項	362	
小計 (うち実地指導件数)		3,446 (457)

◆合計

機関名	相談件数 (うち実地指導件数)
本所	17,988(2,735)
北部研究所	3,446 (457)
合計	21,434(3,192)

2.1.3 現場改善・製品化支援事業

県内中小企業等の現場改善や製品化における課題を解決するため、依頼のあった企業に専門家を派遣した。その主な成果は、次のとおりである。

○ 現場改善・製品化支援指導件数

◆本所

産業分野	企業数
農業	1
食料品製造業	1
繊維工業	2
パルプ・紙・紙加工品製造業	1
生産用機械器具製造業	3
業務用機械器具製造業	1
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1
協同組合(他に分類されないもの)	1
小計	11

技術指導分野	件数
新製品・新技術の開発	6
製造工程の改善	1
品質管理技術の向上	2
規格・基準適合、認証取得	0
産業財産権(特許等)	0
省エネ	0
その他	4
小計	13

◆北部研究所 平成28年度は”0件”だった。

◆合計

機関名	指導企業数	指導日数
本所	11	25
北部研究所	0	0
合計	11	25

2.2 依頼試験

企業からの依頼に応じて、製品や部品、材料等の試験、測定、分析などを実施した。

2.2.1 依頼試験

依頼試験件数の多かった項目は、本所では機器分析、精密測定及び強度試験であり、北部研究所では表面処理試験、強度試験及び組織試験だった(その他の依頼試験を除く)。

◆本所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	118	303,220
	機器分析	4,749	26,656,180
材料試験	強度試験	1,889	2,408,010
	物理試験	150	786,000
	組織試験	1,286	4,080,440
	耐候性試験	246	1,453,860
	表面処理試験	778	2,607,640
測定及び検査	精密測定	2,975	8,209,780
	EMC測定	111	1,119,200
	非破壊検査	135	930,150
調製	試験片調製	700	554,770
立会試験		2	2,600
その他依頼試験		4,601	23,935,540
オーダー試験		3	5,570
試験成績書の複本		17	4,420
写真の焼き増し又はカラー複写		2	800
小 計		17,762	73,058,180

◆北部研究所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	248	226,490
	機器分析	276	1,247,190
材料試験	強度試験	397	318,790
	物理試験	108	97,890
	組織試験	352	1,192,340
	表面処理試験	782	3,670,690
	染色堅ろう度試験	171	119,910
測定及び検査	精密測定	337	1,101,630
官能試験	温度設定のない試験	7	1,820
調製	試験片調製	97	93,770
その他の依頼試験		1,202	6,152,370
オーダー試験		3	48,600
成績書の複本		7	1,820
小 計		3,987	14,273,310

◆合計

機 関 名	件 数	金額(円)
本所	17,762	73,058,180
北部研究所	3,987	14,273,310
合 計	21,749	87,331,490

2.2.2 放射線測定依頼試験

平成23年3月の福島第一原子力発電所の事故発生により、放射能汚染の風評被害が工業製品にも起きた。風評被害に対応するため、平成23年度より工業製品の放射線測定の依頼試験を行っている。

検査対象	検査内容	検査実施場所	測定単位
1検体の一辺の大きさ80cm以内、重量30kg以内の工業製品(個体工業製品に限る)	サーベイメータによる製品表面の放射線量測定	本所	cpm
			μ Sv/h
		北部研究所	cpm
			μ Sv/h

機関名	件数	検体数
本所	9	47
北部研究所	8	59
合計	17	106

2.2.3 試験所の登録

当センターは、独立行政法人製品評価技術基盤機構において、工業標準化法の規定に基づく製品試験を行う者(試験所)を対象とした登録制度に登録していたが、平成29年3月31日を以って登録廃止した。

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	登録年月日
燃焼-赤外線吸収法	試験方法規格 JIS G 1211-3 [適用範囲 0.040% \leq C \leq 4.00%]	平成20年8月1日
ロックウェル硬さ試験	試験方法規格 JIS Z 2245[適用範囲 20HRC \leq ロックウェル硬さ \leq 60HRC]	平成20年8月1日
金属材料引張試験	試験方法規格 JIS Z 2241 [適用範囲 12 kN \leq 試験力 \leq 200 kN]	平成21年7月23日
蛍光X線分析	試験方法規格 JIS G 1256 [試験範囲(単位:%(m/m)) 低合金鋼 0.01 \leq Mn \leq 2.00 0.01 \leq Ni \leq 3.80 0.01 \leq Cr \leq 4.50 0.01 \leq Mo \leq 1.20 ステンレス鋼 0.10 \leq Mn \leq 7.50 0.25 \leq Ni \leq 24.0 8.00 \leq Cr \leq 22.5 0.02 \leq Mo \leq 3.80]	平成21年7月23日

2.3 機器開放

企業の研究開発を支援するため、試験研究機器の開放及び操作技術の認定研修を実施した。

2.3.1 機器開放

企業が利用できる機器は、設計・加工機器、表面観察機器、強度試験機器、精密測定機器、測定機器、試料調整機器、電気・電子測定機器、評価試験機器、分析機器に分類されている。機器の総数は、合計 180 機器である(平成 29 年 3 月末現在)。

本所で特に利用件数の多かった機器はシールドルーム電磁波試験測定装置、次いで電波暗室電磁波試験測定装置、電磁波障害対策室電磁波試験測定装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで熱風循環式乾燥機、複合サイクル試験機の順であった。

北部研究所で利用件数の多かった機器は角型シートマシン、波長分散型蛍光 X 線分析装置、万能材料試験機(10kN)の順であった。利用時間として最も多かった機器は、冷熱衝撃試験機、次いで恒温恒湿槽、真空凍結乾燥機の順であった。

分類別の利用総額と利用件数及び利用時間は次のとおりであった。指導時間は、開放機器を使用する際の有料による指導の時間数である。

◆本所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	3,136,590	422	2,298	2,573,250	233	563,340
表面観察機器	206,160	152	606	206,160	0	0
強度試験機器	997,070	352	894	374,690	259	622,380
精密測定機器	5,908,210	633	3,035	3,962,350	791	1,945,860
測定機器	661,770	387	1,290	469,890	78	191,880
試料調製機器	996,510	85	4,763	957,150	16	39,360
電気・電子測定機器	33,911,930	1,229	4,513	29,090,330	1,960	4,821,600
評価試験機器	6,694,040	308	15,045	5,865,020	337	829,020
分析機器	2,718,400	323	803	2,610,160	44	108,240
小計	55,230,680	3,891	33,247	46,109,000	3,718	9,121,680

◆北部研究所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	86,400	101	329	86,400	0	0
表面観察機器	450	5	5	450	0	0
強度試験機器	269,500	109	327	185,860	34	83,640
精密測定器	340,340	49	184	175,520	67	164,820
測定機器	67,350	48	221	42,750	10	24,600
試料調製機器	778,230	34	1,588	660,150	48	118,080
評価試験機器	4,082,080	85	11,062	4,082,080	0	0
分析機器	731,640	159	545	640,620	37	91,020
小計	6,355,990	590	14,261	5,873,830	196	482,160

◆合計

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
本所	55,230,680	3,891	33,247	46,109,000	3,718	9,121,680
北部研究所	6,355,990	590	14,261	5,873,830	196	482,160
合計	61,586,670	4,481	47,508	51,982,830	3,914	9,603,840

(利用総額:利用金額と指導金額の合計)

2.3.2 機器操作技術認定研修

試験研究機器を利用するに当たり、一定の操作技術が必要なものは研修を実施し、認定証を発行した。

研修日数・参加人数(本所)	132日・238人
研修日数・参加人数(北部)	13日・23人

2.4 スマートものづくり基盤構築事業

低コスト輸入製品の激増や雇用問題に直面する県内企業に対し、IoTを活用した既存生産設備の改良による先進生産システムやスマート工場化に対応したものづくり基盤の構築を支援する。

2.4.1 スマートものづくり支援プロジェクト協力事業

本事業は、県内中小企業のスマートものづくり基盤構築を目的として、既存生産設備に対するセンサー・制御網の配備、情報通信網による接続、生産管理システムの導入など、改造、増設を含めた設備改造の提案、助言を行うものである。

本年度は、本プロジェクトを効果的かつ安全に進めるための知見やノウハウを得ることを目的として、既存生産設備の改造、増設による実証試験を3企業に対して行った。

2.4.2 生産管理IoT化のための実証環境整備(SAITEC実証試験ラボ)

企業が開発したIoT生産管理システムの導入前試験が可能な模擬生産設備を用いた検証環境を整備した。また、生産設備のインターネット接続及びクラウド利用のための検証試験用サーバを整備した。

2.4.3 物流管理システム導入のための試験環境整備

配送経路、配送手段の最適化を支援する物流管理システムの評価試験環境を整備した。

2.4.4 IoT利用技術研究会

IoTの導入・推進を図る企業とIoT化技術を有する企業、IoT関連機器製造企業が情報交換を行い、IoT化を効率的、効果的に進める環境を設けるために「埼玉県IoT利用技術研究会」を設置した。

- ・会 員 56社
- ・第1回研究会 平成28年9月2日 参加者49名
- ・第2回研究会 平成28年10月25日 参加者41名
- ・第3回研究会 平成29年3月25日 参加者31名

2.4.5 地方版IoT推進ラボの認定

経済産業省とIoT推進ラボが実施している地方版IoT推進ラボに、埼玉県IoT推進ラボが選定された。

- ・選定日:平成29年3月13日
- ・名 称:埼玉県IoT推進ラボ
- ・構 成:埼玉県産業技術総合センター、(公財)埼玉県産業振興公社、(公財)さいたま市産業創造財団、埼玉県IoT活用協議会、埼玉県IoT利用技術研究会

2.5 ナノカーボンプロジェクト推進事業

先端産業創造プロジェクトの一環として、企業が開発したナノカーボン等を活用した新素材や新製品の評価解析技術の共同開発を行った。

- ・共同開発件数:3件

2.6 培養酵母の頒布

種 別	本 数	金 額(円)
酒類用酵母	1,395 本	697,500
味噌用酵母	7 本	10,500
ビール用酵母	1 本	500
パン用酵母	10 本	5,000
合計	1,413 本	713,500

3 研究開発

埼玉県産業技術総合センターでは、県内産業の技術力強化を図るため、社会的ニーズや新技術・新製品の開発や生産システム等の課題に対応した研究開発や企業からの依頼による受託研究等を実施し、研究成果の発表や技術相談・指導等を通じて研究成果の技術移転を行った。

また、研究の計画及び終了段階における外部評価委員による研究評価、外部専門家の客員研究員による研究指導等、研究の効果的・効率的推進に努めた。

3.1 研究開発

3.1.1 政策的研究課題

(1) 政策的研究開発事業(産業支援研究)

◆本所

- 混合溶剤による熱可塑性 CFRP のリサイクル
- 次世代輸送機器に向けた、軽量繊維強化熱可塑性プラスチックの製造
- 高周波誘電加熱を利用した異種材料の接合
- ハイブリッド繊維強化複合材料の強度向上
- 三次元導電ネットーナノ粒子複合体の形成

◆北部研究所

- ソフトスチーム技術を利用した高機能穀粉の製造技術の開発
- 普及型水蒸気透過度測定装置の開発

(2) 新技術開発推進事業(独創的技術形成研究、技術支援高度化研究)

◆本所

- IoT プラットフォームの検証環境とモデルサービスの構築
- 新たな車椅子強度基準の ISO もしくは JIS 原案の作成
- 熱分解 GC/MS を用いた微量付着物質の定性分析
- 銅合金中の精密銅分析方法の検討

◆北部研究所

- 埼玉県産新品種米「彩のきずな」の酒造適性の検討
- 食品中の多成分同時検出技術の確立
- 高香気生成清酒酵母の利用性向上に関する研究

(3) 新エネルギープロジェクト推進事業

先端産業創造プロジェクト(新エネルギー分野)の一環として、マグネシウム蓄電池等の大容量蓄電池の研究開発を実施。また、マグネシウム蓄電池の早期実用化を図るため、研究会を運営。

- リチウム硫黄蓄電池の研究開発
- マグネシウム蓄電池の研究開発
- マグネシウム蓄電池研究会の運営(マグネシウム蓄電池実用化研究会、マグネシウム蓄電池活用製品研究会)

(4) ロボットプロジェクト推進事業

ロボットに関する研究開発を2テーマ実施した。

(5) 競争的資金による研究開発等

①研究開発

[研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) 実用化挑戦ステージ 実用化挑戦タイプ
中小・ベンチャー開発 (国研)科学技術振興機構(JST)]

- バイオハザード迅速検出システム

[平成 28 年度医工連携事業化推進事業(実証事業) (国研)日本医療研究開発機構(AMED)]

- 個別最適化した手術を短時間で完了できる人工関節手術ナビゲーションによる3D 手術支援サービスシステムの開発・事業化

[平成 27 年度学術研究助成 (公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団]

- 国内産小麦を使用した麺の風味形成要因の解明

[公設工業試験研究所等における共同研究補助事業(オートレースの補助金) (公財)JKA]

○新機構を用いた超高分解能リニアモータの実用化に関する研究

②その他の支援

[戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]

○複合乳酸菌発酵法を利用した大豆を原料とする抗ストレス食品素材の開発

○ゲル状めっきシステムの開発

3.1.2 受託研究等

(1) 企業からの受託研究

	件数	金額 (円)
本所	21	6,591,300
北部研究所	13	3,749,900
計	34	10,341,200

(2) 外部競争的資金による受託研究

	件数	契約額 (円)
本所	1	979,000
北部研究所	1	600,000
計	2	1,579,000

(3) 外部競争的資金による研究開発

	件数	金額 (円)
本所	1	1,491,226
北部研究所	1	1,300,000
計	2	2,791,226

3.1.3 委託研究開発

(1) 目的

産業技術総合センターと委託事業者の相互のスキルアップを目指して、ロボットニーズ研究会のニーズを踏まえ、公益性・公共性、社会的ニーズに合致したロボットを委託開発するものである。

(2) 方法

①継続分

前年度契約した事業者と随意契約を締結し、実施した。

②新規分

公募テーマを設定し、提案競技方式により開発テーマを募集した。その後、審査委員会を開催し、その意見に基づき開発テーマを決定した。

ア 公募概要

- ・公募時期 平成 28 年 5 月 31 日 (火)～6 月 14 日 (火)
- ・募集内容 ロボットの研究開発に係る提案
- ・研究開発期間 最大 2 年間 (予定)
- ・委託費用 (初年度) 上限 1,000 万円 (10/10) × 1 テーマ
- ・初年度の契約期間 契約日 (平成 28 年 7 月)～平成 29 年 3 月

イ 公募テーマ

公募テーマ	機能例
中小企業の食品工場における省力化ロボット	・異物検出、除去 ・精密計量、選別
公共の場の清掃ロボット	・嘔吐物処理 ・犬等の糞の処理

ウ 応募総数

2 件

エ 審査委員会

- ・審査方法 外部の有識者からなる審査委員会により、審査

- ・開催期日 平成 28 年 6 月 21 日(月)
- ・審査基準及び審査委員(評価は全審査項目について)
 - 技術面 …… (国研)産業技術総合研究所 埼玉大学
 - 事業化面 …… (公財)埼玉りそな産業経済振興財団 (公財)埼玉県産業振興公社
 - 政策面 …… 埼玉県産業労働部参事兼副部长(先端産業課長代理出席)
埼玉県産業技術総合センター長

(3) 実施テーマと委託事業者及び契約期間

①継続分

車いすナビゲーションロボットの開発 (株)埼玉富士
(平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 3 月 10 日)

②新規分

3Dマッピングによる虫の検出システムの開発 (株)Hielero
(平成 28 年 7 月 26 日～平成 29 年 3 月 10 日)

(4) 中間評価に係る審査委員会

- ・審査方法 外部の有識者からなる審査委員会により、審査
- ・開催期日 平成 29 年 3 月 15 日(水)
- ・審査委員
 - (国研)産業技術総合研究所 埼玉大学
 - (公財)埼玉りそな産業経済振興財団 (公財)埼玉県産業振興公社
 - 埼玉県産業労働部参事兼副部长(先端産業課長代理出席) 埼玉県産業技術総合センター長
- ・審査委員会の結果を受けて、2社の委託事業の継続が決定した。

3.1.4 科学研究費助成事業(科研費)

平成 26 年 10 月 15 日付で科学研究費補助金取扱規程に規定する研究機関に指定された。機関番号は 82410 である。

(1) 応募

応募時期	研究種目	応募数		
		研究代表者	研究分担者	連携研究者
平成 28 年 5 月	研究活動スタート支援	1	-	-
平成 28 年 11 月	若手研究(B)	4	-	-
平成 28 年 11 月	基盤研究(C)	0	1	0
平成 28 年 11 月	挑戦的研究(開拓)	0	0	1
平成 28 年 12 月	奨励研究	2	-	-

(2) 採択

研究区分	テーマ	所	研究者区分	研究期間	交付予定額(全年)	
					直接経費(千円)	間接経費(千円)
基盤研究(C)	座位姿勢が、除圧動作に与える影響の解明	本所	研究代表者	H28～H30	※ 3,200	※ 960
若手研究(B)	大腸菌群フローラ解析による食品汚染源推定技術の開発	北部	研究代表者	H28～H30	3,000	900
奨励研究	配管外面を移動可能な蠕動運動型ロボットの開発・検証	本所	研究代表者	H28	490	-

※外部へ支払う分担金を含む。

(3) 実施

研究区分	テーマ	所	研究者区分	交付額	
				直接経費(千円)	間接経費(千円)
基盤研究(C)	座位姿勢が、除圧動作に与える影響の解明	本所	研究代表者	※ 1,100 (700)	※ 330 (210)

若手研究(B)	大腸菌群フローラ解析による食品汚染源推定技術の開発	北部	研究代表者	1,200	360
奨励研究	配管外面を移動可能な蠕動運動型ロボットの開発・検証	本所	研究代表者	490	-

※外部へ支払う分担金を含む。カッコ内は分担金を除いた金額。

3.2 研究開発及び技術支援による実用化・商品化

研究開発及び技術支援によって、企業が技術を実用化し、または開発したものを商品化した案件は28件である。代表的な例を挙げると、

- (1) ろ紙を自動で成形する「ひだ折り紙成形ロボット」の開発
- (2) 飲料用シリンダー式充填機の欠点を解決する「チューブ式充填機」の開発
- (3) 災害時に備えて、軽くて組立簡単で避難場所でのプライバシーを守る「防災用段ボール製パーティション」の開発
- (4) 砂型用3Dプリンターの商品化
- (5) 発泡清酒「ひとすじ」のリーフレットのデザイン開発及び商品化・販促支援
- (6) スマホサイズでウェアラブルな新型呼吸同調器「IVY」の開発

3.3 客員研究員

外部の専門家・有識者を当所の客員研究員として依頼し、当所が進める各分野の研究に対して助言指導を受けた。

客員研究員		指導分野	指導日数
東京大学	空閑 重則 氏	先端ものづくり	3
東京電機大学	釜道 紀浩 氏	先端ものづくり	1
名古屋大学	邊 吾一 氏	環境・エネルギー	4
工学院大学	山田 昌治 氏	農林・食品	2
日本車椅子シーティング財団	廣瀬 秀行 氏	ヘルスケア	5
5名		4分野	15

3.4 研究成果の公表

3.4.1 センター主催の発表

◆本所

SAITEC オープンラボ（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第14巻』）

年月日	研究題目	発表者名
H28.9.27	普及型超微小硬さ測定機の開発	製品開発支援担当 荻野 重人
	炭素繊維強化熱可塑性プラスチック(CFRTP)の構造部材への適用	機械技術担当 小熊 広之
	高度集積電子デバイス等に向けたナノ材料用特性評価システムの開発	電気・電子技術担当 森田 寛之
	高周波誘電加熱を利用した軽量・高強度部材の接合技術の実用化	化学技術担当 佐野 勝
	座面簡易3次元計測システムの開発試作と実用化	戦略プロジェクト 推進担当 半田 隆志
	燃料電池用白金触媒の代替材料の開発	戦略プロジェクト 推進担当 栗原 英紀

◆北部研究所

SAITEC 北部研究所研究発表会（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第14巻』）

年月日	研究題目	発表者名
H28.10.14	高温環境下における水蒸気透過度測定技術の開発	食品・バイオ技術担当 飯塚 真也
	評価技術の応用 ～機器分析を応用した「うどん」の風味改善～	食品・バイオ技術担当 成澤 朋之
	メタボロミクスを利用した食品品質評価の検討 ～清酒を例として～	食品・バイオ技術担当 樋口 誠一

3.4.2 学会等への発表(国際会議含む)

◆本所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H28.4.18	Efficiency of Lost Wax Shell Drying by Microwave	Yutaka Nagai Norio Chida	14th WORLD CONFERENCE IN INVESTMENT CASTING	14th WORLD CICC Proceedings
H28.6.9	オンサイト型ナノインデント用XYステージの開発	荻野 重人	東京都立産業技術研究センタークロスミーティング2016	
H28.6.10	白金代替燃料電池触媒の開発	稲本将史	東京都立産業技術研究発表会センタークロスミーティング2016	
H28.6.14	微細発泡射出成形を用いて作製した発泡コアサンドイッチ織布繊維複合成形品の構造評価	山田 岳大	プラスチック成形加工学会 第27回年次大会	
H28.8	姿勢変換形車椅子のSIO規格の開発	半田隆志、伊庭栄樹		第31回リハ工学カンファレンス講演論文集
H28.8	シーティング評価を目的とした深度センサ付きRGBカメラによる上部体幹部の定量的姿勢計測の試み	白銀暁、半田隆志、高嶋淳、岩崎洋		第31回リハ工学カンファレンス講演論文集
H28.8.2	Increase of strength for CFRTP fabricated with carbon fiber fabrics and Polyamide6 resin by ozone oxidation treatment	Hiroyuki Oguma	17th US-JAPAN Conference on Composite Materials	
H28.9	車いすの国際標準(TC173/SC1)について	半田隆志		LIFE2016講演論文集
H28.9.2	鉄フタロシアニン/炭素触媒の酸素還元特性	稲本将史	表面技術協会第134回講演大会	
H28.9.15	ポリアミド6と炭素繊維織物を用いたCFRTPのオゾン酸化処理による強度向上	小熊 広之	第41回複合材料シンポジウム	
H28.9.15	連続炭素繊維強化ポリカーボネートのオゾン酸化処理による強度向上	小熊 広之		日本複合材料学会誌
H28.10	A preliminary study of the measurement of three-dimensional sternal posture using a RGB-D camera system for seating evaluation	Satoshi Shirogane, Takashi Handa, Toshiaki Tanaka	The Asian Confederation for Physical Therapy 2016	
H28.10	骨盤傾斜角度と座圧分布測定の関係について	木之瀬隆、南裕二、井筒隆文、半田隆志		第32回日本義肢装具学会学術大会講演集
H28.10.17	Improving Mechanical Properties of CFRTP Composed of Polyamide6 as a Matrix Resin by Ozone Oxidation Treatment	Hiroyuki Oguma	THE10th ASIAN-AUSTRALASIAN CONFERENCE ON COMPOSITE MATERIALS (ACCM10)	
H28.10.22	微細深穴燃料噴射ノズルの開発	南部 洋平	日本塑性加工学会 北関東・信越支部 技術フォーラム 「ものづくり産学官金連携研究の進め方」	
H28.10.27	有機溶剤による熱可塑性CFRPのリサイクル	坂本 大輔	神奈川県産業技術センター研究発表会	

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H28.11.1	Visualization analysis of large elongated cells formation process at the boundary area between foamed and non-foamed layers in microcellular injection molding	Yamada Takehiro		American Institute of Physics, Conference Proceedings 1779, 090006 (2016)
H28.11.29	マグネシウム金属の電気化学挙動に及ぼす環状酸無水物添加の影響	栗原英紀	第57回電池討論会	
H28.12.3	連続炭素繊維強化ポリアミド6のオゾン酸化処理による強度向上	小熊 広之	日本大学生産工学部 学術講演会	
H29.1	A preliminary study of the measurement of overload applied to the foot support of a wheelchair and a seated postural support device	Satoshi Shirogane, Takashi Handa, Yoshihiko Kozai, Yusuke Maeda	The Asian Confederation for Physical Therapy	Journal of Physical Therapy Science, 29(1), 8-11
H29.1	ポリアミド6と炭素繊維織物を用いたCFRTPのオゾン酸化処理による強度向上	小熊広之		日本複合材料学会誌
H29.3.9	減圧加熱法で作製した鉄フタロシアニン/炭素触媒のアルカリ条件下での酸素還元特性	稲本将史	表面技術協会第135回講演大会	

◆北部研究所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H28.4.22	高温環境下における水蒸気透過度測定方法の確立	飯塚 真也	エレクトロニクス実装に関する国際会議 (ICEP2016)	
H28.7.27	埼玉G酵母と埼玉E酵母の混合仕込による清酒製造試験	齋藤 健太	平成28年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会	千葉県産業支援技術研究所平成28年度研究成果発表会要旨集
H28.8.26	揮発性成分を指標としたストリーム粉置換による小麦「さとのそら」の風味補強効果	成澤 朋之	日本食品科学工学会第63回大会	
H28.10.17	圧力調整機構付きカップを用いた高温下における水蒸気透過度測定	飯塚 真也	湿度、水分計測・センサ研究会 第91回研究会	
H28.11.1	フレーバー評価技術の確立による製品の高付加価値化と品質管理への応用	成澤 朋之	平成28年度 全国食品技術研究会	
H29.2.15	埼玉酵母からの高温発酵株取得と清酒製造試験	横堀 正敏		日本醸造協会誌第112巻第2号(2017)p.90~95

3.5 研究課題の評価

3.5.1 事前評価

平成 29 年度の研究計画課題について、課題選定や予算策定の基礎資料とするため、内部委員による内部評価を行った上で、外部専門家を含めた研究評価委員会を開催し、事前評価を行った。

○研究評価委員会

外部委員

(平成 29 年 2 月 27 日開催)

東京電機大学	名誉教授	檜村 幸辰 氏
(一社)埼玉県中小企業診断協会	会長	高澤 彰 氏
(公財)埼玉県産業振興公社	よろず支援拠点チーフコーディネーター	野口 満 氏
埼玉大学	名誉教授	松本 幸次 氏
(国研)産業技術総合研究所	産業技術指導員	山中 忠衛 氏

3.5.2 事後評価

平成 27 年度の研究結果について、今後の新しい研究や研究成果の普及の参考とし、さらに効率的研究の推進を図るため、外部委員や内部委員による事後評価を行った。

○研究評価委員会

外部委員

(平成 28 年 6 月 3 日開催)

東京電機大学	名誉教授	檜村 幸辰 氏
(一社)埼玉県中小企業診断協会	会長	高澤 彰 氏
(公財)埼玉県産業振興公社	よろず支援拠点チーフコーディネーター	野口 満 氏
埼玉大学	名誉教授	松本 幸次 氏
(国研)産業技術総合研究所	産業技術指導員	山中 忠衛 氏

3.5.3 中間評価

研究の進捗状況を把握し、その進行を適切に管理するために中間ヒヤリングを以下のとおり実施した。

産業支援研究

平成 28 年 10 月 13 日

4 研究開発支援

中小企業の研究開発支援及び産学官連携を推進するため、技術相談や共同研究による企業の支援を行った。また、研究発表会等を開催し、SAITEC の研究成果を紹介した。さらに、特許の取得推進とその利用に努めた。

4.1 産学官連携の推進

4.1.1 産学官連携推進について

SAITEC における研究開発について、県内企業等と共同研究を行うなどして連携の推進を図った。外部競争的資金については、連携により継続1件、新規1件の採択を得た。

平成 27 年度補正「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」及び平成 28 年度補正「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」については、平成 27 年度から 28 年度にかけて公募が 3 回行われ、応募への相談支援を 138 社に対して行い、38 社が採択された。また、SAITEC 研究発表会の開催や、産業交流展など他機関主催の展示会へも積極的に参加し研究等の説明を行った。

さらに、産学連携支援センター埼玉が主催する産学連携ネットワーク会議に参加し、県内工科系大学及び県内金融機関等と産学官連携の情報交換、連携推進を行った。

4.1.2 産学官連携関連展示会(主催事業)

(1) SAITEC オープンラボ

SAITEC の研究・事業成果の展示・発表及び、埼玉県先端産業創造プロジェクトの成果に関する情報提供などを県内企業等に向けに行った。

開催日：平成 28 年 9 月 27 日(火)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：116 名

内容：SAITEC 及び他県公設試験研究機関、先端産業創造プロジェクトの成果発表、ポスター展示、講演、施設見学会

①研究成果発表

SAITEC 職員による発表 6 テーマ[産業支援研究の内容は 3.4.1 参照]

他県公設試からの発表 3 テーマ

大学からの発表 1 テーマ

②先端産業創造プロジェクト成果発表 6 テーマ

③講演

テーマ 「SAITEC における『IoT』の取組について」

埼玉県産業技術総合センター センター長 中村 雅範

テーマ 「Flexible Factory ～製造 IoT における無線技術の活用～」

国立研究開発法人 情報通信研究機構 主任研究員 板谷 聡子 氏

テーマ 「ドローンのテクノロジーとソリューション」

株式会社 エンルート 代表取締役 伊豆 智幸 氏

④施設見学会

⑤成果展示会 (SAITEC、先端産業創造プロジェクト、埼玉大学、等)

(2) SAITEC 北部研究所研究発表会

食品・バイオ技術などの研究成果と商品開発支援事例の発表、及び新規導入機器について紹介するとともに、熊谷保健所から関連情報の提供を行った。

開催日：平成 28 年 10 月 14 日(金)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：49 名

内容：SAITEC の研究成果の発表、講演、新規導入機器紹介等

① 商品開発支援事例

○テーマ 「菊泉『ひとすじ』の商品開発について」

講師① 滝澤酒造(株) 専務取締役 滝澤 英之 氏

② SAITEC 北部研究所 製品開発支援担当部長 高橋 広子

② 展示及び試作品の試食

③ 研究成果の発表 3 テーマ[内容は 3.4.1 項を参照]

④ 熊谷保健所からの情報提供 「おいしく適塩」による食環境の整備について

⑤ 新規導入機器紹介 フーリエ変換型顕微赤外分光分析装置(顕微IR)

(3) 第 13 回埼玉北部地域技術交流会

34 企業、6 大学、5 金融機関、17 支援機関等が出展し、製品紹介、事業紹介、研究成果の展示及び技術相談会等を開催し、参加者との交流を図った。併せて、先端技術関連の講演と中小企業のイノベーションをテーマとするパネルディスカッション等を実施した。

開催日：平成 28 年 11 月 10 日(木)

会場：ものづくり大学

出展：62 企業・団体

参加者：692 名

内容：

①講演会

「富士通におけるIoT への取り組みと最新技術」～中小企業における展開は～
(株)富士通研究所 シニアディレクター 奥山 敏 氏

②企業と大学のコラボ事例発表

- ・「地域活性、学生の実践教育を目指した産学共同活動の紹介」
立正大学／権田酒造(株)
- ・「射出成型分野における中小企業との産学官連携事例」
埼玉工業大学／(株)一倉製作所
- ・「産学公金連携で開発した非常用電源装置」
東京電機大学／東京電源(株)
- ・「インソール装着効果の検証」 埼玉県立大学／(株)アグア
- ・「製造現場の活性化について」 ものづくり大学／複数企業

③パネルディスカッション

「中小企業のイノベーション～今企業経営にとって重要なことは～」

コーディネーター:(公財)埼玉県産業振興公社

埼玉よろず支援拠点 チーフコーディネータ 野口 満 氏

パネラー:(株)エイブルフソー 西川英寿 氏

サカエゴム工業(株) 田所勤 氏

滝澤酒造(株) 滝澤英之 氏

All EducationAcademy 赤井由紀子 氏

秩父電子(株) 強谷隆彦 氏

ポーライト(株) 島田 登 氏

オブザーバー:(株)富士通研究所 シニアディレクター 奥山 敏 氏

4.1.3 産学官連携に関連する展示会

平成 28 年度は、主催の展示会のみならず、外部機関からの出展依頼のあったものについても積極的に出展した。平成 28 年度の出展実績は以下のとおりである。

年月日	展示会の名称	開催場所	参加人数
H28.10.31～ 11.2	産業交流展 2016	東京国際展示場	147
H28.11.14～15	BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展	大宮ソニックシティ	48
H29.2.1～2	産学連携フェア（彩の国ビジネスアリーナ 2017 同時開催）	さいたまスーパーアリーナ	232

4.2 助成制度への取り組み

埼玉県産業技術総合センターでは、県内中小企業の技術的支援機関として、国の重要施策である新規産業創造の実現に向けた「研究・技術開発に対する助成制度」を積極的に活用するための取り組みを行っている。

4.2.1 研究開発型企业支援事業

県内中小企業に対し、国等が実施する助成制度への応募に向けて、大学、(国研)産業技術総合研究所、(国研)理化学研究所、(公財)埼玉県産業振興公社等との連携の基に支援を行った。

結果、外部競争的資金では、継続1テーマ及び新規1テーマを実施した。また、平成27年度補正「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」及び平成28年度補正「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」については、平成27年度から28年度にかけて公募が3回行われ、応募への相談支援を138社に対して行い、38社が採択された(再掲)。

4.2.2 埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)実用化挑戦ステージ 実用化挑戦タイプ 中小・ベンチャー開発 (国研)科学技術振興機構	バイオハザード迅速検出システム	フルイドウェアテクノロジーズ(株) (国研)産業技術総合研究所 警察庁科学警察研究所 静岡県立大学(薬学部) 岐阜大学(医学部) 名古屋大学(医学部)
平成28年度医工連携事業化推進事業(実証事業) (国研)日本医療研究開発機構(AMED)	1時間以内で個別最適化した手術を完了できる人工関節手術ナビゲーションによる3D手術支援サービスの実用化 (受託した課題名:個別最適化した手術を短時間で完了できる人工関節手術ナビゲーションによる3D手術支援サービスシステムの開発・事業化)	(株)レキシー アルスロデザイン(株) (NPO法人)三次元工学会 埼玉医科大学 日産玉川病院

4.2.3 次世代型ものづくり製品開発支援事業

次世代産業分野(省エネルギー・新エネルギー関連産業分野、健康・医療・福祉関連産業分野、先端ものづくり関連産業分野、新規創出関連産業分野)に進出するため先進的な取り組みを行おうとする企業等に対し、製品開発プロデューサーの一元的な管理の下で当センターのシーズと専門アドバイザーなどを活用することにより、新製品の試作開発から販路開拓までを一貫して支援した。

(1)支援の概要:

①製品開発プロデューサーによる支援

民間企業等において新製品開発の経験や指導の経験を有する者を、製品開発プロデューサーとして各企業に配置し、試作開発から販路開拓に係る支援を実施した。

②専門アドバイザーによる支援

製品開発プロデューサーの一元的な管理のもと、特に専門性が高い技術等について専門家を活用した。

③試作支援

当センターの所有する設備および保有する技術などを活用し、製品開発の迅速化・高度化・高精度化を支援した。

(2)支援状況

支援企業数 9社

・内訳:

健康・医療・福祉関連産業分野	1社
先端ものづくり関連産業分野	5社
新規創出関連産業分野	3社

4.3 特許の取得推進とその活用

4.3.1 産業財産権の一覧

(1) 特許権

平成 28 年度は新たに 5 件の特許出願があった。

下表はセンターが所有する特許全 43 件(未公開 5 件含む)のうち、登録又は出願公開されたものである。なお、センターでは産業財産権のうち特許以外の出願及び権利の所有はない。

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
1	成形鏡面研削装置	H10.2.26 特願平 10-045434	H11.9.7 特開平 11-239969	H20.4.4 4104199	永井 寛 野口 清隆 新井 尚機 戸枝 保 出口 貴久 進藤 久宜 小熊 広之	(国開)理化学研究所共同
2	超磁歪素子の伸縮制御装置	H14.12.4 特願 2002-352179	H16.7.2 特開 2004-187419	H20.3.28 4102655	荻野 重人 宇野 彰一	
3	発酵風味菓子の製造方法	H15.6.6 特願 2003-162045	H16.12.24 特開 2004-357631	H20.9.19 4188146	井上 和春	みたけ食品工業(株)、(株)愛工舎製作所 共同
4	粘弾性測定装置および粘弾性測定方法	H15.10.31 特願 2003-372299	H17.5.26 特開 2005-134295	H21.4.24 4299100	關根 正裕 荻野 重人	(有)サンズコーポレーション 共同
5	漬床及びこれを用いた漬物の製造方法	H16.3.30 特願 2004-098398	H17.10.13 特開 2005-278531	H20.10.24 4205006	井上 和春 大澤 千恵子	みたけ食品工業(株)、(株)愛工舎製作所、東洋大学 共同
6	大腸菌群の汚染源特定方法及びその検出に使用する大腸菌群検出用培地セット	H17.8.8 特願 2005-229680	H19.2.22 特開 2007-43921	H23.7.29 4789540	富永 達矢 關根 正裕	
7	超微小硬さ等測定装置および測定方法	H17.11.18 特願 2005-334061	H19.6.7 特開 2007-139592	H21.9.18 4376858	荻野 重人	
8	ドリルのシンニング装置及びシンニング形成方法	H18.2.3 特願 2006-27551	H19.8.16 特開 2007-203427	H23.12.16 4882103	南部 洋平 落合 一裕	日本ノズル精機(株) 共同
9	センサー機能付アクチュエータ装置および粘弾性測定装置	H18.7.20 特願 2006-198697	H20.2.7 特開 2008-29111	H25.2.8 5190606	關根 正裕	(有)サンズコーポレーション、(有)カトランスフォーマ、共同
10	身体傾斜角計測器および身体ねじれ角計測器	H19.5.29 特願 2007-141889	H20.12.11 特開 2008-295527	H23.12.16 4885795	半田 隆志	他 2 名共同
11	樹脂構造物の製造方法	H19.3.23 特願 2007-76552	H20.10.2 特開 2008-231355	H25.3.1 5205636	山田 岳大	
12	細菌による汚染の汚染源特定方法	H20.4.28 特願 2008-117212	H21.11.12 特開 2009-261363	H25.7.12 5310997	富永 達矢 關根 正裕	
13	動的粘弾性測定装置	H21.6.1 特願 2009-131935	H22.2.4 特開 2010-25923	H25.8.2 5327532	山田 岳大 關根 正裕	
14	加熱調理装置	H21.6.8 特願 2010-516841	H21.12.17 PCT/JP2009/60429	H24.11.9 5130363	關根 正裕 樋口 誠一 高橋 学 常見 崇史	(株)T.M.L、学校法人早稲田大学 共同
15	振動生成装置、動的粘弾性測定装置、および、動的粘弾性測定方法	H20.8.22 特願 2008-214580	H22.3.4 特開 2010-48722	H25.4.5 5233044	關根 正裕	(株)GM タイセー 共同
16	変位拡大装置	H20.9.8 特願 2008-229737	H22.3.25 特開 2010-68549	H25.5.2 5256414	荻野 重人	

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
17	品質評価装置	H20.10.27 特願 2008-275700	H22.5.6 特開 2010-101839	H25.6.7 5282231	關根 正裕 栗原 英紀 富永 達矢	(株)真韻 共同
18	ドレッシング及びその製造方法	H20.12.26 特願 2008-331697	H22.7.8 特開 2010-148468	H25.11.15 5407035	井上 和春	みたけ食品工業 (株)、東洋大学、 (株)愛工舎製作所 共同
19	射出成型装置	H21.4.28 特願 2009-110173	H22.11.18 特開 2010-260175	H22.11.19 4628476	山田 岳大	PLAMO(株) 共同
20	正極活物質、マグネシウム二次電池および正極活物質の製造方法	H21.11.17 特願 2009-261903	H23.6.2 特開 2011-108478	H26.3.20 5499281	栗原 英紀 斎田 吉裕 稲本 将史	
21	加熱調理装置、および、加熱調理方法	H22.3.12 特願 2012-504256	H23.9.15 WO/2011/111231	H25.10.18 5386701	關根 正裕	(株)T.M.L、(株)新井機械製作所 共同
22	バーチャルウエスタンプロテイングシステム	H22.4.28 特願 2012-512589	H23.11.3 WO/2011/135692	H27.1.30 5685777	關根 正裕	(株)エヌイー健康研究所 共同
23	品質保持剤およびその用途	H22.7.2 特願 2010-151674	H24.1.19 特開 2010-10658	H26.10.24 5633675	小島登貴子 樋口 誠一 仲島日出男	
24	マグネシウム二次電池用の電解液、マグネシウム二次電池および電解液の製造方法	H23.1.17 特願 2011-7251	H24.8.9 特開 2012-150924	H26.9.26 5617131	栗原 英紀 稲本 将史	
25	切削加工装置、振動条件提示装置及びその方法	H23.3.9 特願 2011-52238	H24.10.4 特開 2012-187656	H27.3.27 5716955	南部 洋平 落合 一裕	
26	米飯製造方法及び米飯製造装置	H24.1.29 特願 2012-009321	H25.8.1 特開 2013-146224	H28.5.27 5938588	關根 正裕	(株)T.M.L、早稲田大学 共同
27	樹脂接合方法	H24.2.17 特願 2012-032540	H25.8.29 特開 2013-166904		關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
28	ガイド器具設置誤差検出装置	H24.8.10 特願 2012-178914	H26.2.27 特開 2014-36700		半田 隆志	アルスロデザイン (株)、埼玉医科大学 大学 共同
29	接着剤及び樹脂接合方法	H24.8.17 特願 2012-180727	H26.2.27 特開 2014-37489	H29.3.3 6097914	關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
30	固体樹脂の接合方法	H24.11.22 特願 2012-256570	H26.6.9 特開 2014-105215		山田 岳大	前澤化成工業 (株) 共同
31	角度計測システム及びプログラム	H24.12.6 特願 2012-267211	H26.6.26 特開 2014-113197		半田 隆志	アルスロデザイン (株)、(株)レキシー 共同
32	吸熱マット、保護カバー	H24.12.11 特願 2012-270444	H26.6.26 特開 2014-115885		關根 正裕	市原清二 共同
33	燃料用電池用触媒及びカソード	H25.2.28 特願 2013-39566	H26.9.11 特開 2014-167876	H29.3.3 6098871	栗原 英紀 稲本 将史	

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
34	アクチュエータ	H25.3.27 特願 2013-66299	H26.10.6 特開 2014-193015		荻野 重人	
35	位置決め機構	H26.1.31 特願 2014-17257	H27.8.6 特開 2015-143783		荻野 重人	
36	試料の水蒸気透過度測定装置 及び水蒸気透過度測定方法	H27.3.5 特願 2015-043135	H28.9.5 特開 2016-161527		飯塚 真也	
37	電解液及びマグネシウム二次電池	H27.7.13 特願 2015-139770	H29.1.26 特開 2017-22024		栗原 英紀 稲本 将史	本田技研工業 (株) 共同
38	炊飯容器、炊飯容器セット、炊飯方法	H27.7.13 特願 2015-140089	H29.1.26 特開 2017-18441		關根 正裕	(株)T. M. I、 出光ユニテック (株)、中央化学 (株) 共同

4.3.2 実施許諾

平成 28 年度は計 2 件の実施許諾契約を締結し、実施許諾先企業数は合計 19 社(使用特許等数は 27 件)となった。

5 交流

県内中小企業の技術交流を支援するとともに、他の鉱工業公設試験研究機関との交流に努めた。また、講演会、審査会、各種会議等に職員を派遣した。

5.1 異業種交流支援事業

5.1.1 産学官交流プラザ

埼玉県技術交流プラザ終了企業を中心として発足し、技術及び経営等に関する情報交換、大学・企業等との交流、研修会及び講演会等の産学官交流を行った。総会・例会・研修会・役員会の開催は合計5回であった。主な活動実績は次のとおりである。

会 長：岩崎 一隆((株)岩崎食品工業 代表取締役社長)

会員数：28社

年月日	開催場所	内 容
H28.4.27	埼玉県産業技術総合センター	第1回役員会 年度計画と総会準備
H28.5.17	大宮カンファレンスセンター 5F 大会議室	第1回例会 第2回役員会 総会 講演会打ち合わせ、県外視察先検討、総会準備
H28.5.17	大宮カンファレンスセンター 5F 大会議室	経済講演会 講師：津上 俊哉 講演テーマ：中国の行方－習近平の経済・政治・外交－
H28.10.7	埼玉県産業技術総合センター	第3回役員会 県外視察先検討・調整
H28.11.11 ～12	ナカシマプロペラ(株) 安田工業(株)	第2回例会 視察：ナカシマプロペラ(株) 安田工業(株) 工場見学

5.1.2 埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼北ネット)

北部研究所強化事業の一環として、県北地域の中小企業経営者を中心に平成20年度に発足した異業種グループで、活動実績は次のとおりである。

代表幹事：田端 克雄 (有フィールド・サイド代表)

会 員 数：8名

年月日	開催場所	内 容
H28.4.14	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第1回例会 ・情報提供：「下山楽会・流鏑馬報告」
H28.5.12	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第2回例会 ・情報提供：「電力の自由化」
H28.6.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第3回例会 ・情報提供：①北欧報告 ②マツダマヨネーズ研究
H28.7.28	東京都立産業貿易センター 台東館	◇第4回例会 ・「未来を担う東京の中小企業市」視察
H28.9.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第5回例会 ・情報提供：「宮崎畳店テレ玉取材」
H28.10.12	東京国際フォーラム	◇第6回例会 ・「江戸・TOKYO 技とテクノの融合展2016」視察
H28.10.14	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第7回例会 ・北部研究所研究発表会参加
H28.11.10	ものづくり大学	◇第8回例会 ・第13回埼玉北部地域技術交流会参加
H28.12.8	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第9回例会 ・情報提供：「無償？のクラウド Xeivly と Zapier の利用について」 － 北部研 BEMS システム例 －

年月日	開催場所	内 容
H29.1.12	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第10回例会 ・情報提供:「ポタジェ埼玉、伝統工芸品新製品開発」
H29.2.2	さいたまスーパーアリーナ	◇第11回例会 ・「彩の国ビジネスアリーナ 2017」
H29.3.8	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第12回例会 ・食品セミナー参加

5.1.3 さきたま利根テクノプラザ(STTEP)

会員が抱える開発、技術関連及び経営等の課題について、情報や意見の交換等を行い、中小企業の発展及び技術の向上や、技術交流及び経営交流の促進を目的とする。本グループの事務局は北部研究所が担当しており、会員は12企業である。

代 表: 小菅 一憲 (東洋パーツ(株) 会長)

参加企業: 11企業

年月日	開催場所	内 容
H28.4.22	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H28.5.27 ~29	琵琶湖北地方	研修旅行
H28.6.24	熊谷市農業活性化センター	情報交換
H28.7.11	長瀬 長生館	情報交換
H28.9.12	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H28.10.14	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H28.11.18	長瀬 宝登山神社	情報交換
H29.2.20	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H29.3.23	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換

5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)

各種研究会、交流会を支援するため、各会事務局を担当した。

5.2.1 鋳物技術委員会

本県鋳物工業の生産技術の向上を目的として当センターの業務に有効・適切な助言と指導を受けるため、委員会を開催した。主な検討事項は鋳造技術コンクールに関する助言、鋳造技術に関する講演会・講習会の内容の検討等である。なお、委員会は、県依頼の委員3名、業界依頼の委員4名及び川口市職員1名、県職員2名の10名の委員にオブザーバー2名の合計12名で構成する。

平成28年度は2回開催され、出席者は延べ32名であった。

(役員) 委員長 (有)張技術事務所 工博 張 博 氏
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 材料技術担当
川口鋳物工業協同組合 総務課

5.2.2 埼玉県ものづくり研究会

本研究会は、ものづくりのコア技術並びに関連技術の普及、向上に寄与することを目的に、平成19年7月に埼玉県NC工作機械研究会と埼玉県金型研究会を発展的に統合し設立され、講演会、講習会の開催、加工・組み立て技術に関する研究開発、技術者の養成等を主な事業としている。平成28年度は、講演会2回、工場見学会1回を開催し、参加者は、延べ57名であった。

(会員数) 正会員41社、賛助会員4社
(役員) 会長 (株)ユニテックギア 斉藤 正洋 氏
副会長 (株)田口型範 田口 順 氏
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 機械技術担当

5.2.3 埼玉県熱処理技術研究会

本会は、熱処理関連企業の熱処理技術を向上するため、昭和44年6月に設立され、講演会の開催、工場見学、会報の発行を主な事業としている。

平成28年度は講演会を2回、講習会を2回、見学会を1回開催し、参加者は延べ122名であった。

(会員数) 60社
(役員) 会長 松野技術士事務所 松野 和正 氏
副会長 (株)椿本チエイン 吉澤 英明 氏
" (有)中村熱処理工業所 中村 賢一 氏
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター材料技術担当

5.2.4 品質工学フォーラム埼玉(QEF 埼玉)

品質工学は、量産現場における工程管理だけでなく、製品開発や技術開発を効率よく行う工学的手段である。本研究会は、全国組織である品質工学会の埼玉県内在勤・在住の会員を中心に品質工学の普及・発展を図るために設立し、会場の提供や研究会の運営について当センターが支援している。月に一度の定例会と年に数回講演会を行っている。

(会員数) 33名
(役員) 代表 (株)アルビオン 深澤 宏 氏
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター材料技術担当

5.2.5 埼玉県米菓研究会

会員の技術の向上並びに会員相互の親睦を図るため、研究会を開催した。平成28年度は定例会を3回開催し、参加者は延べ65名であった。

(会員数) 30社(正会員25、賛助会員5)
(役員) 会長 (株)折原米菓工場 折原 一嘉 氏
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 食品・バイオ技術担当

5.2.6 清酒製造技術研究会

県産清酒の品質向上、清酒の多様化に対応する品質設計、清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために研究会を開催した。

(会員数) 35社
(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 食品・バイオ技術担当

(1) 市販清酒研究会

流通過程における品質について外装審査、官能評価及び成分分析の試験調査を行って把握し、新製品開発の一助にする。併せて、きき酒能力の向上を図る。

実施日:平成28年6月21日
調査試料:各社おすすめの食中酒
出品点数:28点
参加者:51名(埼玉県吟友会会員、製造担当者、彩の国酒造り学校生徒、他)

(2) 清酒研究会

清酒の多様化に対応する品質並びに清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために、出品酒の官能評価を行い、製造管理及び貯蔵・出荷管理について検討する。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質判定能力の向上を図る。

実施日:平成28年9月16日
出品点数:吟醸酒の部 51点(16場)
純米の部 33点(15場)
参加者:25名(杜氏、酒造担当者)

(3) 吟醸酒研究会

平成27酒造年度全国新酒鑑評会金賞受賞杜氏をパネラーとし、パネルディスカッション等を通じて吟醸酒造りの技術水準向上を図る。

実施日:平成28年12月16日
参加者:17名(杜氏、酒造担当者)
パネルディスカッション:「吟醸酒づくりの要点」
パネリスト (株)文楽 村上 杜氏
(株)東亜酒造 丸山 杜氏
(株)釜屋 松沼 杜氏
寒梅酒造(株) 鈴木 杜氏
講話:「吟醸酒造りについて」
講師:関東信越国税局 齋藤良氏

(4) 杜氏酒造研究会

清酒製造について本酒造年度における問題点を提起し、今後の酒造管理に反映させる。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日:平成29年3月22日
参加者:20名(杜氏、酒造担当者)
講演:「吟醸酒の管理と出品について」
講師:埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 主任研究員 横堀 正敏

5.3 首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表:他県を含む】

首都圏の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することにより首都圏産業の活性化を図った。

5.3.1 首都圏公設試連携推進会議の開催 2回(第52回～第53回)

- (1)平成28年6月17日(金) 埼玉県産業技術総合センター
- (2)平成29年2月10日(金) 東葛テクノプラザ

5.3.2 首都圏公設試連携推進会議(TKFオープンフォーラム)の開催(第10回)

平成28年10月28日(金) 神奈川県産業技術センター

5.3.3 研究発表者相互派遣事業

(1) 発表者派遣

- ① TIRI クロスミーティング((地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会)への参加
平成28年6月9日(木)
 - ・事業化支援室 製品開発支援担当 主任研究員 荻野 重人
「オンサイト型ナノインデーター用XYステージの開発」平成28年6月10日(金)
 - ・技術支援室 戦略プロジェクト推進担当 技師 稲本 将史
「白金代替燃料電池触媒の開発」

- ② 千葉県産業支援技術研究所研究発表会への参加
平成 28 年 7 月 27 日(水)
・北部研究所 技術・事業化支援室 食品・バイオ技術担当 技師 齋藤 健太
「埼玉G酵母と埼玉E酵母の混合仕込による清酒製造試験」

- ③ 神奈川県産業技術センター研究発表会への参加
平成 28 年 10 月 27 日(木)
・技術支援室 化学技術担当 専門研究員 坂本 大輔
・技術支援室 機械技術担当 主任研究員 小熊 広之
「有機溶剤による熱可塑性 CFRP のリサイクル」

(2) 発表者受け入れ (SAITEC オープンラボ)

- ① 川口会場(本所):平成 28 年 9 月 27 日(火)
東京都 1 名
神奈川県 1 名
千葉県 1 名

5.3.4 産業交流展 2016 への参加

- (1) 期日:平成 28 年 10 月 31 日(月)~11 月 2 日(水)
(2) 場所:東京国際展示場

5.3.5 パートナー・グループ事業

(1)微細加工分科会の実施

年月日	場 所	参 加 者
H29.1.27	神奈川県産業技術センター	機械技術担当 南部 洋平

(2)バイオ技術パートナーグループの実施

年月日	場 所	参 加 者
H28.6.13	川崎生命科学・環境研究センター	食品・バイオ技術担当 横堀 正敏 飯塚 真也

5.3.6 TKFミニインターンシップ事業

(1)研究者派遣

派遣元	派遣先	期間・人日	内容
北部研究所 食品・バイオ 技術担当 仲島日出男、常見崇史	山梨県工業技術センター	H28.5.16 2 人日	食品異物対策
機械技術担当 落合一裕、岩崎 翼	栃木県産業技術センター	H28.10.28 2 人日	振動試験
材料技術担当 飽津彰、菊池和尚、 永井寛	東京都立産業技術研究セ ンター	H29.1.25~H29.1.27 9 人日	X 線 CT 装置
電気・電子技術担当 鈴木浩之	東京都立産業技術研究セ ンター	H29.2.16 1 人日	高速通信試験

(2)研究者受入

派遣元	派遣先	期間	内容
新潟県工業技術総合研 究所	機械技術担当 山田岳大	H28.8.25~H28.8.26 4 人日	樹脂成型

5.3.7 広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP)

首都圏の公設試が連携して実施する中小企業の海外展開支援サービスで、国際規格や海外の製品規格についての相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験について技術的な支援を実施するもので、平成24年10月24日(地独)東京都立産業技術研究センター内に開所し、平成28年度は以下の事業を行った。

- (1) 県内企業の利用実績 235件(平成28年度)[機器利用・依頼試験を含む]
うち、専門相談員による相談指導 5件
- (2) 事務局会議
 - ・平成28年6月17日(金) 埼玉県産業技術総合センター
 - ・平成28年10月28日(金) 神奈川県産業技術センター
 - ・平成29年2月10日(金) 東葛テクノプラザ
- (3) MTEP 専門相談員連絡会
 - ・平成28年7月8日(金) (地独)東京都立産業技術研究センター

5.3.8 平成28年度経済産業省補正予算事業「地域新成長産業創出促進事業費補助金(地域未来投資の活性化のための基盤強化事業)」

首都圏で公設試連携体(TKF)を構成している1都3県1市が連携し、印刷・同関連業の中小企業が保有する薄膜化技術を応用した医療・福祉・介護向け IoT センサモジュールの開発支援を行い、将来的に医療・福祉・介護分野におけるものづくりのIoT化を推進し、地域イノベーションの創出を目的とし実施した。

事業の実施にあたり、各公設試がそれぞれ保有する技術シーズを相互に提供するなどして共同活用可能な環境を作り、かつ本事業で整備する機器を広域関東圏内のものづくり中小企業が広く活用できるよう広域的・地域横断的な取組を行うことで、印刷業や医療機器産業など広範な分野の中小企業への技術支援を強化する。

当センターでは、誘電特性評価システムを導入し、薄膜形成性・柔軟性、かつセンサ性能に優れた材料の開発・評価を機器開放、受託研究などを通じて、医療・福祉・介護機器向け IoT センサモジュール開発を行う埼玉県及び広域関東圏の中小企業等の製品化に向けた取組を支援する。具体的には、医療・介護分野におけるIoT活用に不可欠な薄型で柔軟なセンサ開発を目指す中小企業等に対し、TKFによる当該事業PRを始め、地域の関係機関と連携した普及セミナーや導入設備の見学会を交えつつ、材料評価、加工、信頼性評価等の総合的な技術支援を行う。

- (1) 補助事業の開始及び完了予定日 交付決定日～平成30年3月31日
 - ・応募 平成28年11月9日
 - ・採択 平成28年12月20日
 - ・交付申請 平成29年2月28日
 - ・交付決定 平成29年3月14日
- (2) 導入予定機器 誘電特性評価システム

5.4 RINGS NET（新潟、群馬、埼玉 3県公設試連携）

新潟県、群馬県及び埼玉県工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することを目的に設立し、下記の事業を行った。

5.4.1 担当分野別交流会等の開催

- (1) 上信越公設研ネット機関長・企画担当者会議
 - ・平成 28 年 6 月 17 日（金） 埼玉県産業技術総合センター
 - ・平成 29 年 3 月 書類機関長会議

- (2) 中堅・若手技術職員交流会
 - ・平成 29 年 2 月 3 日（金） 群馬県立群馬産業技術センター（4 名参加）

5.5 講演会等講師派遣

◆本所

年月日	名称	会場	内容	講師
H28.4.25	熱可塑性複合材料研究会	岐阜県工業技術研究所		小熊 広之
H28.6.7	埼玉県メタルシート工業会パネル討論会	ブリランテ武蔵野	多様化する産学官連携	細野 光広
H28.9.12 ～9.16	H28 年度鑄造カレッジ・鑄鉄コース・関東地区インターンシップ	ものづくり大学	主催: 日本鑄造協会 内容: 非破壊試験Ⅰ 「X線透過試験法及びX線CT」 非破壊試験Ⅱ 「浸透探傷試験法」 実験実習 「超音波探傷試験」 「溶解実習、顕微鏡組織観察」	永井 寛 鮑津 彰
H28.9.30	3D-CAD&3Dプリンター無料研修	埼玉大学	3Dプリンターの造形方法と特徴の紹介	町田 芳明 南部 洋平 佐藤 宏惟
H28.10.24	第6回ポラス材料研究討論会	京都大学・東京オフィス	主催: (一社) 日本塑性加工学会 内容: 「微細発泡射出成形を利用した発泡コアサンドイッチ織布繊維複合プラスチックの創製」についての講演講師	山田 岳大
H28.10.28	3D-CAD&3Dプリンター無料研修	埼玉大学	3Dプリンターの造形方法と特徴の紹介	町田 芳明 佐藤 宏惟
H28.11.10	補助金活用セミナー	武蔵野銀行本店	主催: 武蔵野銀行 演題 「平成28年度補正ものづくり補助金に申請してみませんか！」	巻島 秀男
H28.11.16	第17回鑄鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	主催: 日本鑄造工学会 内容: 実習Ⅰ, Ⅱ	永井 寛
H28.11.17	第17回鑄鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	主催: 日本鑄造工学会 内容: 実習Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ	永井 寛
H28.11.18	補助金活用セミナー	東上パークビルディング	主催: 武蔵野銀行 演題 「平成28年度補正ものづくり補助金に申請してみませんか！」	細野 光広
H28.11.27	日本図学会 第3回デジタルモデリング研究会	首都大学東京	3Dプリンター活用の現状と新たに生まれた問題	町田 芳明 南部 洋平
H28.12.2	3D-CAD&3Dプリンター無料研修	埼玉大学	3Dプリンターの造形方法と特徴の紹介	町田 芳明 南部 洋平
H28.12.21	食品分析機器講習会	石川県立大学	食品分析機器(動的粘弾測定装置)講習会での講義	關根 正裕
H29.1.20	3D-CAD&3Dプリンター無料研修	埼玉大学	3Dプリンターの造形方法と特徴の紹介	南部 洋平 佐藤 宏惟
H29.2.16	川越工業高校授業	川越工業高校	燃料電池触媒の開発	稲本 将史
H29.2.16	川越工業高校授業	川越工業高校	マグネシウム蓄電池の開発	栗原 英紀
H29.3.3	技術シーズ説明会・マッチング会	東京都立産業技術研究センター本部	低周波振動ドリルによる微細深穴加工	南部 洋平

◆北部研究所

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
H28.4.20	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	物理・化学・数学(基礎)	樋口 誠一
H28.5.11	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	物理・化学・数学	齋藤 健太
H28.5.25	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	原料(水)	横堀 正敏
H28.6.21～24	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	きき酒及び分析実習	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
H28.7.6	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	原料(米)	横堀 正敏
H28.8.17	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	HACCP	横堀 正敏
H28.10. 6	埼玉 35 酒蔵大試飲会	大宮ソニックシティ	酒造技術ブース出展	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
H28.10.19 H28.10.26	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	精米実習	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太 鈴木 康修
H28.10.26	カケンテストセンター大阪事業所 技術交流会	カケンテストセンター大阪事業所	圧力調整機構付きカップを用いた高温下における水蒸気透過度測定	飯塚 真也
H28.10.28	日本技術士会埼玉県支部平成28年度「産学官連携CPD」セミナー	浦和コミュニティセンター第6研修室	産学官連携による地域農産物の加工・販売面での付加価値向上(6次産業化)支援	小島登貴子
H28.11.21	平成28酒造年度酒造講話会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	話題提供	横堀 正敏
H29.1.24	さいたま市ランドコーディネーター協議会セミナー	浦和コミュニティセンター第1研修室	産学官連携による6次産業化支援	小島登貴子
H29.3.3	TKF発酵技術研究会	埼玉県産業技術総合センター	日本酒の基礎知識、埼玉県における日本酒製造の研究開発、H28試醸酒官能評価、利き酒体験	横堀 正敏 齋藤 健太

5.6 審査会等への派遣

◆本所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H28.6.1～6.2	先端産業創造プロジェクト 医療イノベーション補助金審査会	ビジネス交流プラザ	細野 光広
H28.6.19	平成28年度技能検定(鉄鋳物鋳造作業)実技試験	永井機械鋳造株式会社	菊池 和尚
H28.6.28	平成28年度SSH運第1回当指導委員会	浦和一女麗風会議室	細野 光広
H29.2.8	平成28年度SSH運第2回当指導委員会		細野 光広
H28.7.6	平成28年度技能検定(鉄鋳物鋳造作業)審査会	埼玉県産業技術総合センター	菊池 和尚
H28.7.27	草加ものづくりブランド第1回審査会	草加商工会議所	細野 光広
H28.7.28	川口市産業技術・技能者顕彰制度審査委員会	パレスホテル大宮	關根 正裕
H28.8.5	草加市新製品開発補助金審査会	草加市役所第2庁舎	細野 光広
H28.10.3	第2回川口新製品等開発振興奨励審査会	埼玉県産業技術総合センター	細野 光広
H28.10.12	川越ものづくりブランドKOEDO E-PRO認定審査会	川越市南公民館	細野 光広
H28.10.12	第52回埼玉県鋳造技術コンクール審査会	埼玉県産業技術総合センター	關根 正裕
H28.10.25	平成28年度彩の国優良ブランド品推奨審査会	ビジネス交流プラザ	細野 光広
H28.10.27	第5回鋳造技術コンクール(アルミ)審査会	川口鋳物工業協同組合	關根 正裕 飽津 彰
H28.10.29	埼玉県児童・生徒発明創意くふう展審査会	ビジネス交流プラザ	細野 光広
H28.11.15	八潮市優良技術者・技能者の選定評価会	八潮メセナ	細野 光広
H28.11.29	川口i-monoブランド認定審査会	川口商工会議所	細野 光広
H28.12.2	草加モノづくり認定事業審査会	草加商工会議所	細野 光広
H29.1.18	八潮市優良ブランド認定審査会	八潮メセナ	細野 光広
H29.1.24	吉川市デザインブランド審査会	吉川市役所	細野 光広
H29.2.3	和光理研IM選考委員会	和光理研	細野 光広
H28	NEDO 平成28年度中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業	書面審査	半田 隆志
H28	NEDO 平成28年度戦略的基盤技術高度化支援事業	書面審査	半田 隆志
H28	NEDO 研究開発型ベンチャー支援事業/企業間連携スタートアップに対する事業化支援事業	書面審査	半田 隆志

◆北部研究所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H28.4.12～13	平成27酒造年度越後流酒造技術選手権大会	新潟県酒造会館	横堀 正敏
H28.5.27	熊谷染染組合第51回擦染作品競技会	熊谷市立商工会館	小島登貴子 竹内 了
H28.6.29	埼玉県酒造組合西部ブロック初呑切	小川町民会館	横堀 正敏 齋藤 健太
H28.7.27	埼玉県酒造組行田・熊谷支部初呑切会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	横堀 正敏 樋口 誠一
H28.9.15	第51回栃木県清酒鑑評会	栃木県産業技術センター	横堀 正敏
H28.10.4～5	第87回関東信越国税局酒類鑑評会 一審	関東信越国税局	横堀 正敏
H28.10.6	全国きき酒選手権埼玉県大会	大宮ソニックシティ	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
H28.10.12	第87回関東信越国税局酒類鑑評会 二審	関東信越国税局	横堀 正敏
H28.11.18	第12回熊谷市産業祭農産物共進会(味噌)	熊谷スポーツ文化公園 熊谷ドーム内	海野 まりえ
H28.12.8～9	関東信越国税局市販酒類調査品質評価	関東信越国税局	横堀 正敏

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H29.1.19	技能検定実技試験(パン製造)	(株)ベーカリーシステム研究所	成澤 朋之
H29.1.25	埼玉県ふるさと認証食品「みそ」官能審査	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	海野 まりえ 成澤 朋之
H29.2.24	平成28年度食品関係調査研究評価委員会	さいたま新都心合同庁舎検査棟	小島登貴子
H29.3.13	埼玉県酒造組合合同持ち寄り研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
H29.3.14	群馬県清酒品評会審査会	群馬県立群馬産業技術センター	横堀 正敏
H29.3.23	平成27年度茨城県吟醸酒出品研究会	茨城県工業技術センター	横堀 正敏

5.7 技術評価

新製品開発等の補助金、表彰等に応募した企業の提案課題について技術評価を実施した。

事業名	依頼元	内容
川越市ものづくりブランド認定審査会	川越市産業振興課	審査会
草加市研究開発型企业育成部門補助金	草加市産業振興課	補助金審査会
草加モノづくりブランド認定審査会	草加市産業振興課	審査会
川口i-monoブランド認定審査会	川口商工会議所	審査会
川口新製品等開発振興審査会	川口市産業振興公社	補助金審査会
八潮市優良技術者及び技能者の選定に係る評価会 八潮市優良ブランド認定審査会	八潮市商工観光課	審査会
吉川市デザインブランド審査会	吉川市商工課	審査会

5.8 会議等への参加

◆本所

年月日	会議名	会場	出席者
H28.4～H29.3	座位変換形車椅子国際標準分科会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田隆志
H28.4～H29.3	ISO/TC 173国内検討委員会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田隆志
H28.4～H29.3	ロボット介護機器標準化委員会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田隆志
H28.4～H29.3	ロボット介護機器通則分科会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田隆志
H28.4～H29.3	JIS T 9203改正に関するJIS開発委員会	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田隆志
H28.4.20	埼玉産業人クラブ総会	浦和ロイヤルパインズホテル	鈴木 康之
H28.4.20	東京都立産業技術センターロボット支援プラザ開所式	東京都立産業技術研究センター	正能 修一 關根 正裕 小口 正浩 荻野 重人
H28.4.21	ぶぎん「ものづくり経営塾」	大宮ラフォーレ清水園	細野 光広
H28.5.12	埼玉県経営者協会定時総会	パレスホテル大宮	中村 雅範
H28.5.12	VCADシステム研究会 第17回ポリゴン研究会	理化学研究所	増子 陽一 佐藤 宏惟
H28.5.17	ISO/TC 173/SC 1/WG 1 および WG 11	Bologna exhibition centre	Takashi Handa
H28.5.18	コラボ産学官埼玉支部総会	浦和ロイヤルパインズホテル	中村 雅範
H28.5.18	第28回鑄造カレッジ合同委員会	機械振興会館	永井 寛
H28.5.25	川越市ものづくりブランド認定委員会	ウェスタ川越	細野 光広
H28.5.26	新都心ビジネス交流プラザ10周年記念式典	新都心ビジネス交流プラザ	中村 雅範 鈴木 康之 正能 修一
H28.6.2	日本規格協会 JIS準備委員会	日本規格協会	島崎 景正
H28.6.6	埼玉大学産学官連携協議会 運営委員会、総会	大宮ソニックシティ	中村 雅範
H28.6.8	経営合理化協会総会	パレスホテル大宮	中村 雅範
H28.6.8	都立産業技術総合研究センター 独立法人化10周年記念式典	東京都立産業技術研究センター	鈴木 康之
H28.6.8	東日本FRP工業会 総会・研修会	男女共同参画推進センター	福島 泰年 小熊 広之
H28.6.9	TIRIクロスミーティング	東京都立産業技術研究センター	中村 雅範
H28.6.9	ナノカーボンワーキンググループ	YWCA 会館内カフマンホール	山田 岳大
H28.6.13	IoTプロジェクトフォーラム	神奈川県産業技術センター	中村 雅範
H28.6.13	川口若手人材プロジェクト	川口商工会議所	細野 光広
H28.6.13	IoTセミナー	神奈川県産業技術センター	關根 正裕 小口 正浩 福島 泰年 他
H28.6.16	埼玉県プラスチック振興会総会	市民会館うらわ	關根 正裕 山田 岳大
H28.6.17	首都圏公設試連携推進会議	埼玉県産業技術総合センター	中村 雅範
H28.6.21	3D3プロジェクト 第1回 東分科会	産業技術総合研究所(東京)	島崎 景正
H28.6.22	産業技術連携推進会議 3Dものづくり特別分科会	東京都立産業技術研究センター	南部 洋平 佐藤 宏惟

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H28.6.24	埼玉県東部地区経営革新支援会議	草加商工会議所	細野 光広
H28.6.27	男女共同参画社会づくりに向けての全国会議	東京国際フォーラム	正能 修一
H28.6.28	川口i-mono 認定協議会	川口商工会議所	鈴木 康之
H28.6.28	SSH第1回運営指導委員会	埼玉県立浦和第一女子高等学校	細野 光広
H28.7.14～15	公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	奈良市男女共同参画センター	中村 雅範 小口 正浩
H28.7.20	さいしんコラボ産学官「技術課題相談会in越谷」	越谷市中央市民会館	巻島 秀男
H28.9.2	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 電磁環境分科会 第14回 関東甲信越静EMC研究交流会	新潟県工業技術総合研究所	鈴木 啓介
H28.9.5	埼玉県産業人クラブ役員会	ホテルブリランテ武蔵野	中村 雅範
H28.9.5	第7回ナノカーボン実用化推進研究会	東京大学 弥生講堂 一条ホール	内藤 理恵 原田 雅典
H28.9.6	さいしんコラボ産学官「技術課題相談会in久喜」	久喜総合文化会館	高柳 博通
H28.9.8	廃砂処理検討委員会	かわぐちキャスティ	福島 泰年
H28.9.12	ナノカーボン先端技術交流会	新都心ビジネスプラザ	内藤 理恵
H28.9.16	第4回ナノカーボンWG全体合合	TKPスター貸会議室 根津	山田 岳大
H28.9.21	廃砂処理検討委員会	川口鑄物工業協同組合	福島 泰年
H28.9.29	広域ビジネス交流会	フレンジア	細野 光広
H28.9.29～ 9.30	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第23回表面技術分科会	宮城県自治会館	和田 健太郎
H28.10.3～4	産業技術連会推進会議 関東甲信越静地域部会総会	ベルクラシック甲府	中村 雅範 小口 正浩
H28.10.4	さいしんコラボ産学官「技術課題相談 in 川越」	ウェスタ川越	山川 徹郎
H28.10.7	VCAD システム研究会 第18回ポリゴン研究会	理化学研究所	増子 陽一 佐藤 宏惟
H28.10.11～ 12	3D3プロジェクト 第2回 東分科会	山梨県工業技術センター	島崎 景正
H28.10.13～ 14	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 平成28年度音・振動研究会	奈良県産業総合振興センター	岩崎 翼
H28.10.14	品質工学公開セミナー	埼玉県産業技術総合センター	原田 雅典
H28.10.19	埼玉県産学連携研究開発プロジェクト補助金事業 第1回研究開発推進会議	信州大学 工学部	原田 雅典 山田 岳大 内藤 理恵
H28.10.26	廃砂処理検討委員会	川口鑄物工業協同組合	福島 泰年
H28.10.28	TKFフォーラム	神奈川産業技術センター	中村 雅範 福島 泰年 増子 陽一
H28.10.28	MTEPオープンフォーラム	神奈川県産業技術センター	關根 正裕 小口 正裕 宇野 彰一
H28.10.31	白金フリー触媒ワークショップ	筑波大学	稲本 将史
H28.11.4	日本規格協会 JIS準備委員会	産業技術総合研究所(筑波)	島崎 景正
H28.11.9	第10回ナノカーボン先端技術交流会	新都心ビジネスプラザ	内藤 理恵
H28.11.10～ 11	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 第21回 電磁環境分科会 第26回 EMC研究会	くにびきメッセ テクノアークしまね	能戸 崇行
H28.11.15	産業技術連携推進会議 ナノテク・材料部会 素形材分科会 全国公設試験研究機関素形材 技術担当者会議および総会	産業技術総合研究所 中部センター	菊池 和尚

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H28.11.16	開放特許活用埼玉大会	彩の国さいたま芸術劇場	細野 光広 影山 和則 中澤 赳史
H28.11.16	廃砂処理検討委員会	川口鋳物工業協同組合	福島 泰年
H28.11.17～ 18	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料 部会 第54回高分子科会	サンラポーむらくも	山田 岳大
H28.11.22	川口i-monoブランド認定協議会審査部会	川口商工会議所	細野 光広
H28.11.28	埼玉大学産学交流会	埼玉大学	中村 雅範
H28.11.29～ 30	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 情報技術分科会 組込み技術研 究会総会	広島県立総合技術研究所 食品工業技術センター、他	鈴木 浩之 杉山 和樹
H28.11.30 ～12.1	3D3プロジェクト 第1回 全体会	サンポートホール高松	島崎 景正
H28.11.30 ～12.2	産業技術連携推進会議 知的基盤部会総会、 計測分科会 形状計測研究会・温度熱研究会	サンポートホール高松	島崎 景正 長野 隼人 内藤 理恵
H28.12.1～2	産業技術連携推進会議 知的基盤部会総会及 び分析分科会	サンポートホール高松	原田 雅典 菊地 和尚 小澤 真希枝 焼田 裕之
H28.12.6	さいしんコラボ産学官「技術課題相談 in 浦和」	埼玉縣信用金庫浦和支店	齊藤 弘美
H28.12.10	開放特許活用全国大会	富士通本社ビル	細野 光広 中澤 赳史
H28.12.12	廃砂処理検討委員会	川口鋳物工業協同組合	福島 泰年
H28.12.15	JSCAST ユーザー会	新ダイビル	菊池 和尚
H28.12.22	公設試担当者向け知財創出のための支援 セミナー	(一社)発明推進協会	細野 光広 小口 正浩
H28.12.22	日本規格協会 JIS準備委員会	日本規格協会	島崎 景正
H29.1.13	廃砂処理検討委員会	川口鋳物工業協同組合	福島 泰年
H29.1.17	めっき技術競技会表彰式	パレスホテル大宮	中村 雅範 關根 正裕 清水 宏一 和田 健太郎 大澤 直幸
H29.1.19	MTEP-RoHS パートナーグループ会議	東京都立産業技術研究セン ター	鈴木 昌資 熊谷 知哉
H29.1.27	TKF微細加工分科会	神奈川県産業技術センター	南部 洋平
H29.2.7	3D3プロジェクト 第3回 東分科会	埼玉県産業技術総合センタ ー	島崎 景正 増子 陽一 長野 隼人 宮崎 智詞 佐藤 宏惟
H29.2.8	彩の国工場振興協議会	浦和ワシントンホテル	中村 雅範
H29.2.8	H28年度中小企業活路開拓調査・具現化事業 成果普及講習会	川口鋳物工業協同組合	福島 泰年
H29.2.10	TKF会議	東葛テクノプラザ	中村 雅範
H29.2.15	INPITグローバル知財戦略フォーラム	後楽園ホテル	細野 光広
H29.2.20	埼玉県産学連携研究開発プロジェクト補助金 事業 第2回研究開発推進会議	信州大学 工学部	原田 雅典 小熊 広之 山田 岳大
H29.2.24	産業技術連携推進会議総会	丸の内トラストタワー	中村 雅範 小口 正浩
H29.2.28	第8回ナノカーボン実用化推進研究会	東京大学 伊藤国際学術研 究センター 伊藤謝恩ホール	小林 達哉

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H29.2.28～3.6	33rd International Seating Symposium	Tennessee	半田 隆志
H29.3.3	技術シーズ説明会・マッチング会	東京都産業技術研究センター	南部 洋平
H29.3.6～7	3D3プロジェクト 第2回 全体会	産業技術総合研究所	島崎 景正 佐藤 宏惟
H29.3.9～10	表面技術協会第135回講演大会	東洋大学川越キャンパス	内藤 理恵
H29.3.10	鋳造カレッジ 10 周年記念式典	機械振興会館	中村雅範, 永井 寛
H29.3.11	第 26 回ライフサポート学会フロンティア講演会 「生活支援Ⅲ」セッション座長	芝浦工業大学豊洲キャンパス	半田 隆志
H29.3.13	地方版IoT推進ラボ選定証授与式	学術総合センタービル	中村 雅範 福島 泰年
H29.3.15	鋳造カレッジ10周年記念式典	機械振興会館	中村 雅範 永井 寛
H29.3.17	第 29 回鋳造カレッジ合同委員会	機械振興会館	永井 寛
H29.3.30	埼玉県産業人クラブ総会	パレスホテル大宮	中村 雅範

◆北部研究所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H28.4.18	飯島財団研究助成金授与式	山崎製パン企業年金基金会館	成澤 朋之
H28.4.20	第 1 回 EMS 技術開発部会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利 山川 翔平
H28.4.21	埼玉県米菓研究会理事会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	常見 崇史 成澤 朋之
H28.4.26	日本鋳造工学会・関東支部理事会	日立金属(株) 高輪和彊館	増田 伸二
H28.5.12	埼玉県酒造組合第 63 回通常総会	岸権旅館	増田 伸二
H28.5.13	埼玉県生麺業協同組合平成 28 年度第 67 回通常総会	マロウドイン大宮	増田 伸二
H28.5.17	第 46 回埼玉県漬物協同組合通常総会	マロウドイン熊谷	増田 伸二
H28.5.17	埼玉県吟友会平成 27 年度通常総会	立川グランドホテル	横堀 正敏
H28.5.20	埼玉醤油工業協同組合平成 28 年度通常総会	ホテルガーデンパレス	小島 登貴子
H28.5.26	大里地域機関長会議	マロウドイン熊谷	増田 伸二
H28.5.27	産学連携ネットワーク会議幹事会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利
H28.6.7	埼玉小麦ネットワーク研究会	JA ほくさい	海野 まりえ
H28.6.8	埼玉県米菓研究会総会	新都心ビジネス交流プラザ	常見 崇史 成澤 朋之
H28.6.13	第 2 回EMS技術開発部会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利 山川 翔平
H28.6.13	TKFバイオ技術パートナーグループ	川崎生命科学・環境研究センター	横堀 正敏 飯塚 真也
H28.6.20	埼玉県食品工業協会第 52 回通常総会	マロウドイン熊谷	増田 伸二
H28.6.24	日本鋳造工学会理事会	シェラトン都ホテル大阪	増田 伸二
H28.6.30 ～7.1	平成28年度関東甲信越地区食品醸造研究会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	増田 伸二 小島 登貴子 横堀 正敏 細井 永次 仲島 日出男 樋口 誠一 富永 達也 海野 まりえ 飯塚 真也 成澤 朋之 齋藤 健太

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H28.7.4	Find Chichibu総会	秩父地場産センター	増田 伸二
H28.7.15	ものづくり熊谷設立総会	熊谷市立商工会館	増田 伸二
H28.8.10	第3回 EMS 技術開発部会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利 山川 翔平
H28.9.8	埼玉県米菓研究会理事会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	常見 崇史 成澤 朋之
H28.9.26	EMS 説明会	新都心ビジネス交流プラザ	山川 翔平
H28.9.27	熊谷高校SSH運営委員会	熊谷高校	増田 伸二
H28.10.19	第4回 EMS 技術開発部会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利 山川 翔平
H28.10.21	全国酒造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎第4号館	横堀 正敏
H28.10.28	TKF オープンフォーラム	神奈川県産業技術センター	増田 伸二 山川翔平
H28.11.1	第87回関東信越国税局酒類鑑評会表彰式	さいたま新都心合同庁舎 1号館	増田 伸二 横堀 正敏
H28.11.5	女子栄養大実習報告会	女子栄養大学	仲島 日出男 成澤 朋之
H28.11.8	食品工業協会研修会	マロウドイン熊谷	増田 伸二
H28.11.8	埼玉県米菓研究会秋の勉強会	新都心ビジネス交流プラザ	常見 崇史 成澤 朋之
H28.11.16	日本鑄造工学会理事会	クボタ東京本社	増田 伸二
H28.11.21	さいしんコラボ産学官「技術課題相談会in鴻巣」	鴻巣市市民活動センター	北村 英三
H28.11.24	平成 28 年度後期 技能検定実技試験実施打合せ会議	浦和合同庁舎	横堀 正敏
H28.11.30 ～12.2	産業技術連携推進会議 知的基盤部会総会、 分析分科会	サンポートホール高松	鈴木 理博
H28.11.30 ～12.2	産業技術連携推進会議 知的基盤部会総会 計測分科会	サンポートホール高松	関根 俊彰 鳥羽 遼子
H28.12.9	見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト「さい たま市産小麦製品試食会」	武蔵野銀行 本店3階ホール・会議室	仲島 日出男 成澤 朋之
H28.12.21	第5回 EMS 技術開発部会	新都心ビジネス交流プラザ	山川 翔平
H29.1.11	埼玉県酒造組合全員協議会	キングアンバサダーホテル	増田 伸二
H29.1.24	日本鑄造工学会理事会	クボタ東京本社	増田 伸二
H29.1.24	埼玉県米菓研究会理事会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	常見 崇史 成澤 朋之
H29.2.1	埼玉県ビジネス懇談会	さいたまスーパーアリーナ	増田 伸二
H29.2.1	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部 会 食品・バイオ分科会 産総研LS-BT 合同研 究発表会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター	細井 永次
H29.2.3	群馬県分析研究会	群馬県立群馬産業技術セン ター	井上 裕之
H29.2.4	熊谷高校SSH運営委員会	熊谷高校	増田 伸二
H29.2.7	埼玉県次世代住宅産業プロジェクト 成果報告 会	新都心ビジネス交流プラザ	山川 翔平
H29.2.8	埼玉県農商工連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	小島登貴子 齋藤 健太
H29.2.11	熊谷発ビジネスプランコンテスト	熊谷市立市民ホール(中央 公民館)	小島登貴子
H29.2.11～12	平成 28 年度品質工学合同研究会	国民宿舎 能登小牧台	井上 裕之 原田 雅典
H29.2.16	全国食品試験研究場所長会 平成 2 7 年度食品試験研究推進会議	つくば国際会議場	小島登貴子
H29.3.2	埼玉県米菓研究会新春情報交換会	新都心ビジネス交流プラザ	常見 崇史 成澤 朋之
H29.3.7	第6回 EMS 技術開発部会	新都心ビジネス交流プラザ	山川 翔平

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H29.3.15	日本鑄造工学会理事会	機械振興会館	増田 伸二

5.9 次世代自動車支援事業の運営支援

次世代自動車に対し県内中小企業の新規参入や既存企業の技術転用を促進するため、(公財)埼玉県産業振興公社が自動車産業部会を組織したが、その中の各研究会等の運営・開催に対し当センターが支援を行った。具体的には、各研究会に対し下記のとおり担当者を決めて活動した。

5.9.1 部会及び各研究会参加企業数

(1) 自動車産業部会

部会	参加企業数	時点
自動車産業部会	167 社	H29.3.31

(2) 自動車産業部会内の各研究会

研究会	参加企業数	時点
モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会	19 社	H29.3.31
軽量化研究会	22 社	H29.3.31

5.9.2 研究会等の名称及び担当者一覧表

研 究 会 等		担 当 者
窓 口		巻島 秀男、山川 徹郎
技術開発領域	モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会	常木 裕己、島崎 景正、本多 春樹、山川 翔平、岩崎 翼、宮崎 智詞
	軽量化研究会	小熊 広之、島崎 景正、山川 翔平

5.9.3 各研究会の概要

(1) モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H28.6.17	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	23	33
H28.8.24	第2回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	37	46
H28.11.2	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	10	16
H29.2.8	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	20	30

(2) 軽量化研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H28.6.22	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	29	33
H28.9.14	第2回研究会	(株)神戸製鋼所 真岡製造所	15	35
H28.11.24	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	13	21
H29.2.15	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	19	27

6 情報提供

当センターの利用を促進し、業務の成果・結果などを公表するため、SAITEC オープンラボ等の開催・各種印刷物の発行やウェブサイト上での情報発信を行った。また、記者発表等を行うことにより、各種メディアに取り上げられた。

6.1 技術普及業務

6.1.1 SAITEC オープンラボ

SAITEC(埼玉県産業技術総合センター)の研究・事業成果の展示・発表及び、埼玉県先端産業創造プロジェクトの成果に関する情報提供などを県内企業等に向けて行った。

開催日:平成28年9月27日(火)

会場:埼玉県産業技術総合センター

来場者:116名

内容:SAITEC 及び他県公設試験研究機関、先端産業創造プロジェクトの成果発表、ポスター展示、講演、施設見学会

(1)研究成果発表

○SAITEC 職員による発表 6テーマ[産業支援研究の内容は3.4.1を参照]

○他県公設試からの発表 3テーマ

○大学からの発表 1テーマ

(2)先端産業創造プロジェクト成果発表 6テーマ

(3)講演

○テーマ 「SAITEC における『IoT』の取組について」

埼玉県産業技術総合センター センター長 中村 雅範

○テーマ 「Flexible Factory ～製造IoTにおける無線技術の活用～」

国立研究開発法人 情報通信研究機構 主任研究員 板谷 聡子 氏

○テーマ 「ドローンのテクノロジーとソリューション」

株式会社 エンルート 代表取締役 伊豆 智幸 氏

(4)施設見学会

(5)成果展示会(SAITEC、先端産業創造プロジェクト、埼玉大学等)

6.1.2 SAITEC 北部研究所研究発表会

食品・バイオ技術などの研究成果と商品開発支援事例の発表、及び新規導入機器について紹介するとともに、熊谷保健所から関連情報の提供を行った。

開催日:平成28年10月14日(金)

会場:埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者:49名

内容:

(1)商品開発支援事例

○テーマ「菊泉『ひとすじ』の商品開発について」

講師① 滝澤酒造(株) 専務取締役 滝澤 英之 氏

② SAITEC 北部研究所 製品開発支援担当部長 高橋 広子

(2)展示及び試作品の試食

(3)研究成果の発表 3テーマ[内容は3.4.1項を参照]

(4)熊谷保健所からの情報提供 「おいしく適塩」による食環境の整備について

(5)新規導入機器紹介 フーリエ変換型顕微赤外分光分析装置(顕微IR)

6.1.3 研究報告

研究報告 第14巻(平成27年度) 平成29年3月発行(Web上)

6.2 利用促進

6.2.1 業務報告

平成 27 年度 業務報告 平成 28 年 8 月発行(Web 上)

6.2.2 インターネットによる技術情報の提供

(1) ウェブページ

当センターのインターネットウェブページで主に以下の内容について情報提供した。

- ・ 平成 15 年度～平成 27 年度研究報告
- ・ 依頼試験案内、開放機器の案内、開放機器研修日程
- ・ 技術アドバイザー制度の案内、技術アドバイザーデータベース
- ・ 貸会議室、貸研究室
- ・ 研修会、講演会等の開催案内
- ・ 他機関の各種支援情報
- ・ セミナー、講習会情報
- ・ 新規導入機器の紹介

(2) メールマガジン等

県内中小企業の新技術・新製品の開発を支援するため、当センターに関連する産業情報をメールマガジンにより迅速に発信した。

発行件数 14 件

また、電子メールによる「インターネット技術相談窓口」には 1,702 件の問い合わせがあった。

6.2.3 記者発表

年月日	タイトル
H28.9.7	埼玉県産業振興公社 IoT セミナーの参加者募集
H28.9.13	「SAITEC オープンラボ」を開催します！ ～産業技術総合センターの最新の研究・事業成果を紹介する1日です～
H28.10.22	第 13 回埼玉北部地域技術交流会を開催します ー埼玉北部を中心に活躍する企業が集結ー

6.2.4 マスメディア報道

(1) 新聞報道

年月日	新聞名	内容
H28.4.28	読売新聞	3D 技術を活用した人形作成
H28.5.3	日経新聞	3D 技術を活用した人形作成
H28.5.19	埼玉新聞	コラボ産学官 広告記事
H28.5.26	日刊工業新聞	特許活用製品 学生から提案
H28.5.27	日刊工業新聞	埼玉県特集
H28.5.31	埼玉新聞	条例改正
H28.6.8	日刊工業新聞	IoT 事業
H28.7.4	フジサンケイビジ ネスアイ	特許を活用した中小企業支援
H28.7.21	日刊工業新聞	変わるものづくり(武蔵医研)
H28.7.27	毎日新聞	キラッとカンパニーズ
H28.8.30	日経新聞	災害用段ボール製間仕切り
H28.9.9	埼玉新聞	マグネシウム蓄電池について(知事インタビュー)
H28.9.17	共同通信	段ボール間仕切り
H28.9.20	福島民友新聞	〃
H28.9.20	福島民報	〃
H28.9.21	日経新聞	サイテック オープンラボ
H28.9.23	産経新聞	段ボール間仕切り
H28.9.24	埼玉新聞	〃
H28.10.6	毎日新聞	〃
H28.10.9	日本経済新聞	マグネシウム蓄電池

年月日	新聞名	内容
H28.10.27	フジサンケイビジネスイ	埼玉県特集(先端産創造 PJ)
H28.11.28	日刊工業新聞	埼玉県特集
H28.12.15	日経新聞	タイ 工業副大臣視察
H29.1.18	埼玉新聞	知事会見(Mg 蓄電池)
H29.1.27	日経産業	テクトレンド マグネシウム電池
H29.2.15	日刊工業新聞	中小 IoT 化を加速
H29.2.21	埼玉新聞	センター条例改正
H29.2.21	日経新聞	2月県議会(手数料条例の変更について)

(2) テレビ・ラジオ報道

年月日	テレビ・ラジオ名	番組名	内容
H28.4.3	TBS テレビ	未来の起源	マグネシウム蓄電池の開発
H28.10.1	テレビ埼玉	彩の国ニュースほっと	SAITEC オープンラボの紹介
H28.10.26	NHK 総合	ニュース	段ボール簡易間仕切り
H29.3.21	NHK 総合	首都圏ネットワーク	平成 28 酒造年度春季清酒鑑評会・審査会
H29.3.21	テレビ埼玉	EveningNews	〃

(3) その他雑誌報道

年月日	雑誌名	内容
H28.5.9	埼玉県議会だより	マグネシウム蓄電池について
H28.6.25	川口鋳物ニュース	鋳物技術講習会
H28.7.1	アクセス埼玉	企業紹介(テクニカルアーツ)
H29.1.20	日経エレクトロニクス2月号	ポスト Li イオン電池急加速(マグネシウム蓄電池)

7 起業化支援

起業家や新事業分野に進出する中小企業を技術・経営両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室22室を設置している。

7.1 入居企業

(1) 貸研究室(平成28年度実績)

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	FiReP Rebar Japan(株)	東京都港区	工業製品	H29.3.1 入居
2	(株)エプセム	川口市	産業機器	H29.1.9 退去
3	(株)アークテイク	東京都新宿区	電子機器	
4	武蔵医研(株)	川口市	医療機器	
5	(株)オブセル	さいたま市	光学機器	2室利用
6	メルスモン製薬(株)	東京都豊島区	医薬品	
7	ジェナシス(株)	川口市	バイオ産業	H28.6.26 退去
8	(株)セネコム	川口市	産業機器	2室利用、H29.2.9 退去
9	日本ジーンウィズ(株)	川口市	バイオ産業	2室利用、H28.8.23 入居
10	ナノサミット(株)	川口市	工業製品	2室利用
11	石川金属機工(株)	川口市	理化学機器	
12	(同)JFR	東京都練馬区	工業製品	H28.6.1 入居
13	ビタミン C60 バイオリサーチ(株)	東京都中央区	化粧品原料	H29.3.31 退去
14	(株)ポリテック・デザイン	さいたま市	工業製品	
15	Shimada Appli(同)	さいたま市	産業機器	H29.2.28 退去
16	アサヒ化成工業(株)	東京都中央区	工業製品	H28.4.15 入居
17	玉置電子工業(株)	川口市	産業機器	
18	クエスト(株)	川口市	IT	
19	KFケミカル(株)	東京都港区	工業製品	H29.3.27 入居
20	(株)分散材料研究所	戸田市	工業製品	

※この他(公財)埼玉県産業振興公社が埼玉バイオプロジェクト・コア研究室として1室を使用していた。
(H28.7.31 退去)

7.2 支援実績

	支援内容	利用企業数	利用件数
1	センター研究員による技術相談	6 企業	80 件
2	インキュベーション・マネージャーによる経営相談	17 企業	109 件
3	依頼試験の利用を通じた技術支援	2 企業	11 件
4	開放機器の利用を通じた技術支援	5 企業	75 件
5	試作加工室の提供	5 企業	104 件
6	各種情報提供(セミナー、助成金、展示会など)	提供件数:53 件	

8 人材育成

県内中小企業等の人材を育成するため、研修生の受け入れ等を行った。また、技術競技会における表彰を行った。

8.1 研修生の受け入れ

8.1.1 中小企業等研究者養成研修事業

県内中小企業等の研究者及び技術者の資質の向上を図り、その技術力、研究開発力を強化することを目的として、研修生を受け入れた。

◆本所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H29.1.23	埼玉大学	2	1	材料技術担当 清水 宏一
本 所 計		2	1	

◆北部研究所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H28.5.25～H29.3.31	製造業	1	5	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
H28.5.30～H29.3.31	製造業	1	5	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
H28.8.3～H28.8.9	女子栄養大学	4	5	食品・バイオ技術担当 仲島 日出男
H28.8.15～H28.9.5	東洋大学	1	10	食品・バイオ技術担当 細井 永次
H28.8.22～H28.8.26	東京家政大学	3	5	製品開発支援担当 高橋 広子
H28.8.22～H28.8.26	大妻女子大学	3	5	製品開発支援担当 高橋 広子
H29.1.25～H29.3.24	製造業	1	5	食品・バイオ技術担当 樋口 誠一
北部研究所 計		14	40	

◆合計

	受け入れ実績	
	人数	日数
本 所	2名	1日
北部研究所	14名	40日
合 計	16名	41日

8.1.2 インターンシップ事業

埼玉県では、学生の職業意識の醸成と県政への理解を深めることを目的として、県庁・地域機関でのインターンシップを実施している。この制度で受け入れた研修生は以下のとおりである。

◆本所

期 間	機関名	人数	研 修 内 容	担当者
H28.8.22～H28.9.2	埼玉大学 東洋大学	2	金属材料・評価技術 ラピッドプロトタイプ技術	材料技術担当 機械技術担当

8.1.3 平成 28 年度 鑄造カレッジ事業(関東地区) インターンシップ

テーマ	技術と経営力を持つ次世代鑄造人材の育成を目的に行われた下記概要の鑄造カレッジ・関東地区インターンシップ事業について、開催内容・カリキュラムの検討、講師選定、講師派遣により、その実施を支援した。
概要	(1) ねずみ鑄鉄の熱分析と接種及びその評価 (2) 球状黒鉛鑄鉄の球状化処理とフェーディング及びその評価 (3) 工場見学と討議
場所	(1,2)ものづくり大学 (3)日産自動車(株)栃木工場 (株)木村鑄造所 群馬工場及び群馬FM工場 ホテルふせじま
期間	(1,2)平成 28 年 9 月 12 日～9 月 16 日 (3)平成 29 年 2 月 3、4 日
参加人数	(1,2)20 名 (3)24 名

8.1.4 その他研修生

期間	機関名	受け入れ人数	研修内容	担当者
H28.8.8	ものづくり大学	1	最近の技術動向	材料技術担当 永井 寛

8.2 技術講習会、講演会等の開催

県内中小企業等の研究者や技術者に対し、技術講習会、講演会等を開催した。

◆本所(主催事業)

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H28.5.20	埼玉県熱処理技術研究会総会及び記念講演会	埼玉県産業技術総合センター	総会、講演会 「PVD・CVDによる硬質膜の諸特性」 仁平技術士事務所 所長 仁平 宣弘 氏	22
H28.6.1 6.2 6.10	第240回埼玉県鑄物技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	全体テーマ「技能検定のための鑄造技術の基礎知識」 6月1日 「Part I」 講師:伊藤鉄工(株) 執行役員 岡崎清治 氏 6月2日 「Part II」 ものづくり大学 名誉教授 鈴木 克美 氏 6月10日 「Part III」 (株)永瀬留十郎工場 技術顧問 永瀬 勇 氏	163
H28.6.2 6.9 6.15 6.23	熱処理技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	熱処理の社員教育 熱処理技術研究会役員	延べ39
H28.7.8	3次元CAD/CAE操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	TEK(株) 長谷山 良典 氏ほか	10

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H28.7.13, 7.27,8.10, 8.24,9.7,9.21	ものづくりの基本構想か ら事業計画までの企画 デザイン実践講座	埼玉県産業技術 総合センター	公益社団法人 埼玉デザイン協議会 平山 裕嗣 氏ほか	5
H28.7.27	第552回埼玉県鋳物技 術講演会	埼玉県産業技術 総合センター	「ものづくりマイスター」について 厚生省ものづくりマイスター(鋳造) 小谷 孝夫 氏	29
H28.9.7 ～9.9	第241回埼玉県鋳物技 術講習会	埼玉県産業技術 総合センター	全体テーマ「最新の黒鉛球状化処理技 術とその留意点」 9月7日 「Mgワイヤー処理について」 東洋電化工業(株) 三谷聡健 氏 9月8日 「新しい球状化処理プロセスの紹介」 (有)フォセコ・ジャパン・リミテッド 鋳鉄溶湯処理グループ 佐野真也氏 9月9日 「効率のよい球状化処理法とは ーサンドイッチ法とワイヤー法ー」 大阪特殊合金(株) 勝山工場 技術開発部 部長 鈴木 孝夫 氏	87
H28.9.16	実践型熱処理技術講 習会	埼玉県産業技術 総合センター	「熱処理工場の管理技術」 白岡冶金(株) 代表取締役 鈴木 泰 氏 「真空熱処理の保守と安全」 アルバックテクノ(株) 人材開発本部 教育研修センター 所長 穂坂 浩之 氏 「設備の維持・安定した運用の為に」 中外炉工業(株) 熱処理事業本部 電計部 部長 三島 二二夫 氏 「多目的ガス窒化炉の技術説明と保 守・点検」 (株)日本テクノ 代表取締役社長 椛澤 均 氏	20
H28.9.30	3次元CAD/CAE操作 体験セミナー	埼玉県産業技術 総合センター	TEK(株) 長谷山 良典 氏ほか	10
H28.10.12	第553回埼玉県鋳物技 術講演会	埼玉県産業技術 総合センター	「最近の新しい溶解処理方法と材質」につ いて (株)木村鋳造所 開発部 常務取締役開発統括 菅野利猛 氏	46
H28.10.14	品質工学公開セミナー	埼玉県産業技術 総合センター	「低温度差スターリングエンジンに触れ てみよう！」 早稲田大学 星 賢一 氏	20
H28.10.26	振動試験セミナー	埼玉県産業技術 総合センター	講演・見学会 「振動試験の基礎ー(振動試験の必要 性)ー」 エミック(株) 技術顧問 井下 芳雄 氏	18
H28.11.25	第9回ものづくり講演会	埼玉県産業技術 総合センター	「3Dプリンタ活用事例のご紹介」 アルテック(株) 3Dプリンタ営業課 立山 豪 氏 「HONDAパーソナルモビリティ「UNI- CUB β」開発紹介」 (株)本田技術研究所 ARD スマートモビリティブロック 研究員 矢田 渉 氏	21

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H28.11.29	3次元CAD/CAE操作 体験セミナー	埼玉県産業技術 総合センター	TEK(株) 長谷山 良典 氏ほか	6
H28.12.7 ～12.9	第242回埼玉県鋳物技 術講習会	埼玉県産業技術 総合センター	全体テーマ「最新の黒鉛球状化処理技 術とその留意点」 12月7日 「自動車向け排気系部材用耐熱材料」 講師:一般社団法人日本鋳造協会 技術・非鉄グループGL 伊藤賢児氏 12月8日 「高強度鋳鉄」 元 日立造船(株) 毛利勝一 氏 12月9日 「高マンガン非磁性球状黒鉛鋳鉄の開発」 北光金属工業(株) 管理部次長 大月栄治 氏	68
H29.2.24	EMC ノイズ対策講習会 (第2回)	埼玉県産業技術 総合センター	「ノイズ対策と雷防護のための接地・グラ ウンド・アイソレーション技術」 (株)電研精機研究所 平田 源二 氏	48
H29.3.1	EMC ノイズ対策講習会 (第1回)	埼玉県産業技術 総合センター	「静電気試験法解説」 (株)ノイズ研究所 齊藤 健 氏、矢野 功雄 氏	12
H29.3.6	表面粗さ測定機&真円 度測定機・技術セミナ ー	埼玉県産業技術 総合センター	「接触式表面粗さの評価方法及び JIS 規格」 (株)小坂製作所 松島 秀信 氏 「真円度測定機による幾何学公差と評 価方法」 (株)小坂製作所 鈴木 清 氏	20
H29.3.10	熱処理発表会	埼玉県産業技術 総合センター	「生産作業効率アップの改善事例」 (株)オーネックス 生産課課長 鈴木 英二 氏 「3相電源の負荷バランス制御による省 エネ検証事例」 (株)ヤマザキ電機 技術部設計3課 清水 利彦 氏 「磁気測定の基本」 電子磁気工業(株) 開発部開発課 尾崎 智裕 氏	25
H29.3.15	第554回埼玉県鋳物技 術講演会	埼玉県産業技術 総合センター	「平成28年度埼玉県産業技術総合セン ター新規導入装置の紹介」 ・X線CT装置 東芝ITコントロールシステム(株) 検査メカトロシステム事業部 主幹 富澤 雅美 氏 ・インクジェット式カラー3Dプリンター アルテック(株)3Dプリンタ営業課 課長 立山 豪 氏	41

◆北部研究所（主催事業）

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H28.11.10	第13回埼玉北部地域 技術交流会	ものづくり大学	講演会 ・「富士通におけるIoT への取組みと最新技術」 ～中小企業における展開は～ (株)富士通研究所 シニアディレクター 奥山 敏 氏 ・企業と大学のコラボ事例発表 「地域活性、学生の実践教育を目指した 産学共同活動の紹介」 立正大学／権田酒造(株) 「射出成型分野における中小企業との産 学官連携事例」 埼玉工業大学／(株)一倉製作所 「産学公金連携で開発した非常用電源 装置」 東京電機大学／東京電源(株) 「インソール装着効果の検証」 埼玉県立大学／(株)アグア 「製造現場の活性化について」 ものづくり大学／複数企業 ・パネルディスカッション 「中小企業のイノベーション～今企業経営に とって重要なことは～」 コーディネータ:(公財)埼玉県産業振興公社 埼玉よろず支援拠点 チーフコーディネータ 野口 満 氏 パネラー:(株)エイブルフソー 西川英寿 氏 サカエコム工業(株) 田所勤 氏 滝澤酒造(株) 滝澤英之 氏 All EducationAcademy 赤井由紀子 氏 秩父電子(株) 強谷隆彦 氏 ポーライト(株) 島田 登 氏 オブザーバー:(株)富士通研究所 シニアディレクター 奥山 敏 氏	692
H28.12.7	非接触式測定装置紹 介セミナー	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	講演 ・「マイクロフォーカス X 線 CT 装置を使 った非破壊検査および計測応用例につ いて」 (株)ニコン マーケティング部 商品 企画課 八嶋紘寛 氏 ・「全焦点 3D 表面形状測定装置『イン フイニートフォーカス G5 のご紹介』」 (株)ユーロテクノ 営業チーム 藤田 篤 氏 ・装置デモ	24
H29.3.8	食品セミナー	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	講演① 「減塩商品の開発戦略と課題」 ～健康食品ブランドの構築に向けて～ (一社)適塩・血圧対策推進協会 代表理事 岡山 明 氏 講演② 「乳酸菌について」 SAITEC 北部研究所 事業化支援担 当 専門員 北村英三 新規導入機器の紹介 液体クロマトグラフ質量分析装置	77

◆本所(支援事業)

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
H28.5.24	埼玉県ものづくり研究会 総会・講演会	埼玉県産業技術 総合センター	・通常総会 ・講演会 「“無印”流 経営のヒントと改革のアイデア」 (株)松井オフィス 代表取締役 松井 忠三 氏	19
H28.11.18	第5回鋳造技術コンクール(軽合金)講評会	埼玉県産業技術 総合センター	講評会講師 ものづくり大学 名誉教授 鈴木克美 氏	70

◆北部研究所(支援事業)

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H28.6.21	市販清酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「各社おすすめのお中酒」28点 全体講評 関東信越国税局 倉光 潤一 氏 石躍 馨 氏 学識経験者 石川 雄章 氏 大橋 勝 氏 講演「おしゃれに酔う日本酒とおつまみの 選び方」 日本酒スタイリスト 小旗 照美 氏 情報提供 パーカーコーポレーション	51
H28.9.16	清酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	出品点数 吟醸酒の部 51点(16場) 純米酒の部 33点(15場) 清酒審査講評 関東信越国税局 坂本 弥生子 氏 齋藤 良 氏 学識経験者 石川 雄章 氏 大橋 勝 氏 埼玉県産業技術総合センター北部研 究所 主任研究員 横堀 正敏 主任 樋口 誠一 技師 齋藤 健太	25
H28.11.8	米菓研究会秋の勉強会	新都心ビジネス 交流プラザ	「食品表示法に基づく食品表示制度の概 要」 講師 埼玉県食品安全課 左近 早苗 氏	21
H28.12.16	吟醸酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	パネルディスカッション 「吟醸酒造りの要点」 進行 杜氏会相談役 高橋 清明 氏 講演「吟醸酒造りについて」 関東信越国税局 齋藤 良 氏	14
H29.3.2	米菓研究会新春情報交 換会	新都心ビジネス 交流プラザ	「加工でんぷんのチカラ～菓子類に見る 松谷化学製品の使用効果～」 松谷化学工業(株) 佐々木 康二 氏	28
H29.3.22	杜氏酒造研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「吟醸酒の管理と出品について」 埼玉県産業技術総合センター北部研 究所 主任研究員 横堀 正敏	20

注)米菓研究会、市販清酒研究会、清酒研究会、吟醸酒研究会、杜氏酒造研究会については、
5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)に再掲。

8.3 技術競技会

8.3.1 埼玉県鑄造技術コンクール

○第 52 回埼玉県鑄造技術コンクール

鑄造技術の向上は、企業個々の不断の努力と研鑽が重要であり、昨今の諸外国の追い上げや経済環境の急激な変化等によりその重要性は益々高くなってきている。

埼玉県鑄造技術コンクールは、鑄物製造技術の更なるレベルアップを目的に埼玉県と川口鑄物工業協同組合が共同して開催しており、今年で 52 回目になる。課題を設定し高品質かつ正確に作ることを競っている。

今回は、ねずみ鑄鉄部門延べ 15 社、球状黒鉛鑄鉄部門延べ 15 社の参加で行われ、入賞者は次のとおりであった。

受賞工場一覧

ねずみ鑄鉄部門

賞 名	事業所名
埼玉県知事賞	(株) 辻井製作所
埼玉県産業労働部長賞	富和鑄造(株)
川口鑄物工業協同組合理事長賞	(株) 大六鑄造
川口市長賞	前澤工業(株)
一般社団法人日本鑄造協会会長賞	(名) 富岡鑄工場
一般財団法人素形材センター会長賞	吉村工業(株)
公益財団法人川口産業振興公社理事長賞	永井機械鑄造(株)
川口機械工業協同組合理事長賞	不二工業(株)
川口木型工業協同組合理事長賞	新井産業(株)
新日鐵住金株式会社社長賞	不二工業(株)

球状黒鉛鑄鉄部門

賞 名	事業所名
埼玉県知事賞	(株) 永瀬留十郎工場 櫛引工場
埼玉県産業労働部長賞	(株) 辻井製作所
川口鑄物工業協同組合理事長賞	(株) マスセイ
川口市長賞	新井産業(株)
川口商工会議所会頭賞	東洋鑄工(株)
一般財団法人川口工業会館理事長賞	(株) シグマ製作所
川口鑄物技術センター委員長賞	富和鑄造(株)
埼玉鑄物技能士会会長賞	永井機械鑄造(株)
株式会社神戸製鋼所社長賞	(株) 永瀬留十郎工場
神鋼商事株式会社社長賞	(株) 大六鑄造

○第 5 回鑄造技術コンクール(軽合金)

川口鑄物工業協同組合と川口鑄物技術センターが主催、埼玉県が後援により軽合金部門(アルミニウム合金)のコンクールが行われた。今年で 5 回目となり、18 作品の参加により競われた。出品作品の評価は、審査委員が鑄造方案(鑄造品の作り方)の適切さ、製品の出来栄え、材質、強度特性、歩留り(全鑄込み重量に対する製品部の重量比)の高さ、化学分析などの観点から行われ、入賞した作品の製作者は次のとおりであった。

受賞者一覧

賞 名	製作者名(敬称略)
川口鑄物工業協同組合理事長賞	株式会社飯田合金鑄造所 中澤 克彦
川口市長賞	株式会社飯田合金鑄造所 平野 純矢
埼玉県産業技術総合センター長賞	有限会社小泉アルミ ペラルタラモン・クリスファー・ハプスタン
公益財団法人川口産業振興公社理事長賞	株式会社小口合金鑄造所 金子 和幸

賞 名	製作者名(敬称略)
川口鋳物技術センター委員長賞	株式会社田島軽金属 中嶋 裕信
一般財団法人川口工業会館理事長賞	株式会社鈴木製作所 星野 英二
川口鋳物工業協同組合 非鉄・非磁性部会長賞	有限会社小泉アルミ マートケットク・ジョンエルビン・アテンデイト

8.3.2 平成 28 年度(第 59 回)埼玉県めっき技術競技会

埼玉県、埼玉県鍍金工業組合との共催により、埼玉県中小企業団体中央会、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)、産業通信の協賛を得て、装飾用クロムめっきの部、亜鉛めっきの部、工業用クロムめっきの部、バレル亜鉛めっきの部、無電解ニッケルめっきの部の 5 つの部門で行われた。

今年度の参加状況は装飾用クロムめっきの部 8 社、亜鉛めっきの部 8 社、工業用クロムめっきの部 9 社、バレル亜鉛めっきの部 9 社、無電解めっきの部 8 社の延べ 42 社の参加があった。入賞者は以下のとおりであった。

審査結果

部 門 表彰区分	装飾用クロム めっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロム めっきの部	バレル亜鉛 めっきの部	無電解ニッケル めっきの部
埼玉県知事賞	ふたば工業(株)	(株)トーツー創研 大森 留次 氏	(株)精硬クローム工業 大平 善和 氏	(株)大倉	高松電鍍工業(株) 無電解Ni 1号ライン
埼玉県産業労働 部長賞	(株)甲斐野テックス 長谷川 学 氏	(株)大宮鍍金工業 須永 勝則 氏	新硬クローム工業(株)	(有)小築鍍金工業所 森 正伸 氏	吉野電化工業(株)
埼玉県産業技術 総合センター長賞	(有)渡辺鍍金工業所 渡邊 順一 氏	(有)池澤鍍金工業所 藤原 亘 氏	(株)ミドリ技研 山崎 宏昭 氏	カツデン(株)	(株)パーツ精工 表面処理事業部 小野 友義 氏
埼玉県中小企業団体 中央会長賞	(有)小林鍍金工業	押尾化学工業(有)	吉野電化工業(株)	(株)大宮鍍金工業 眞下 薫 氏	スリーケ(株)
埼玉県鍍金工業 組合理事長賞	(株)東工業	吉野電化工業(株)	(株)オーク埼玉工場 ディアスガアキラエンリク氏	(株)小林鍍金工業	(株)明光社
フジサンケイ ビジネスアイ賞	(有)坂寄鍍研精工	(株)大倉	仁科工業(株) 佐藤 真弥 氏	(株)東工業	日本電鍍工業(株)
産業通信社賞	(有)今井メッキ工業所 今井 翔悟 氏	(有)阪本鍍金	東洋硬化クローム(株)	押尾化学工業(有)	(株)精硬クローム工業

8.3.3 平成 28 酒造年度春季清酒鑑評会

平成 29 年 3 月 21 日に北部研究所で実施した。出品点数 90 点(19 場)

県産清酒の酒質の向上と醸造技術の改善を図り、業界の発展のため鑑評会を行う。きき酒審査結果、成分分析結果の優良であった 11 製造場の杜氏を入賞とし、そのうち特に優秀であった 5 製造場の杜氏に北部研究所長より技術優秀賞を授与した。

平成 28 酒造年度春季清酒鑑評会技術優秀賞(組合員名簿順)

酒造場名	酒 銘	杜 氏 名
(株)文楽	文 楽	村上 大介 氏
松岡醸造(株)	帝 松	松岡 則夫 氏
横田酒造(株)	日 本 橋	綱島 睦彦 氏
(株)釜屋	力 士	松沼 宏顕 氏
寒梅酒造(株)	寒 梅	鈴木 隆広 氏

8.4 科学技術体験学習の実施

8.4.1 スーパーサイエンスハイスクール事業

◆本所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された浦和第一女子高等学校と連携し、センター職員が講義する7つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成 28 年 12 月 15 日(木)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター
- (3) 人 数 26 名(浦和第一女子高等学校 1 年生)
- (4) 学習内容
 - ① 赤外分光光度計による香り成分の測定
 - ② 天然水中のミネラル分の測定
 - ③ 鋳物づくり体験学習
 - ④ X線による非破壊検査体験学習[X線撮影・現像・評価等]
 - ⑤ 3Dプリンターのための立体データ作成方法
 - ⑥ 金属の電解研磨
 - ⑦ 自作アンテナによる地デジの受信と電波の観察

◆北部研究所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された熊谷女子高等学校と連携し、センター職員が講義するテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成 28 年 7 月 20 日(水)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所
- (3) 人 数 38 名(熊谷女子高等学校 1 年生 37 名 2 年生 1 名)
- (4) 学習内容 「“美味しさ”はどのように評価する？」と題し、原料小麦粉が異なる食パンの風味の評価について、記述型官能評価法(QDA 法)の体験学習を実施した。

9 その他の事業

9.1 職員研修

職員の技術力向上に資するため、各種研修会に職員を参加させるとともに、職場研修を実施した。

◆本所

研修機関・講座名	期 間	場 所	研修者
EMAXフォローアップ講習会	H28.5.13	(株)堀場製作所	常木 裕己
IMV(株)振動試験セミナー	H28.7.8	新宿住友ビル住友スカイルーム 8	岩崎 翼
KF法水分測定技術セミナー	H28.7.8	エムワイ貸会議室 お茶の水	菊池 和尚
ナノ粒子分析セミナー NanoLytica 2016	H28.7.15	横浜ビジネスパーク	内藤 理恵
第86回東北大学金属材料研究所 夏期講習会	H28.7.19~7.20	東北大学金属材料研究所	飽津 彰 菊池 和尚
蛍光X線微小部分分析計 ユーザスクール 膜厚測定コース	H28.7.22	(株)日立ハイテクサイエンス サイエンスソリューションラボ東京	大澤 直幸
PHOENICS 流体解析実践セミナー	H28.9.8	CHAM-JAPAN 剛堂会館ビル	大澤 直幸
ISO17025(試験所・校正機関認定)内部監 査員養成セミナー	H28.9.12~13	JFEテクノリサーチ	福島 泰年 岡林 美由貴
スマートものづくりのための技術調査(研 修及びIoT先進地視察)	H28.9.13~9.23	ドイツ バイエルン州	關根 正裕 本多 春樹
日立SEM基礎セミナー2016	H28.9.16	大宮ソニックシティ	木村 晋利 小林 達哉
EPMA 表面分析 Users Meeting	H28.10.6~7	東京大学	常木 裕己 小林 達哉
蛍光X線微小部分分析計 ユーザスクール 有害物質/一般分析コース	H28.10.20	(株)日立ハイテクサイエンス サイエンスソリューションラボ東京	大澤 直幸
オープンソースプラットフォームライセンス の要点	H28.11.17~18	高度ポリテクセンター	鈴木 浩之 本多 春樹
熱流体シミュレーションセミナー	H28.11.25	日本テクノセンター	大澤 直幸
spScan 2016.1 バージョンアップセミナー	H28.11.28	鉄鋼会館 812会議室	増子 陽一
TEM Users Meeting	H28.12.2	東京大学 武田先端知ビル5階 武田ホール	木村 晋利 常木 裕己
ポリマー系材料(複合材料)における破壊 力学の基礎と強度設計への応用	H28.12.5	(株)日本テクノセンター	原田 雅典
シングルボードコンピュータ活用による IoTシステム構築技術	H28.12.8~9	高度ポリテクセンター	鈴木 浩之
ANSYS Workbench Mechanical 入門セミ ナー	H28.12.15	CYBERNET 東京本社	小熊 広之
公設試担当者向け知財創出のための支 援セミナー	H28.12.22	発明会館	細野 光広
FE-SEM標準コース	H29.2.8~10	日本電子(株) 本社・昭島製作所	木村 晋利 小林 達哉
マイコン制御システム開発技術	H29.2.8~10	高度ポリテクセンター	杉山 和樹
INPUT グローバル知財戦略フォーラム	H29.2.14	東京ドームホテル	細野 光広
マシニングセンタ実践技術セミナー	H29.2.20~24	ポリテクセンター埼玉	佐藤 宏惟
有接点シーケンス制御による電動機制御 の実務	H29.3.1~2	ポリテクセンター埼玉	本多 春樹
マシニングセンタ技術セミナー	H29.3.13~17	ポリテクセンター埼玉	佐藤 宏惟
日本機械学会 生産システム部門研究発 表講演会2017	H29.3.16	埼玉大学	本多 春樹

◆北部研究所

研修機関・講座名	期間	場 所	研修者
IR機器研修	H28.4.13	埼玉県産業技術総合センター	仲島 日出男 常見 崇史
AACCI日本支部講演会	H28.4.22	社)日本パン技術研究所	仲島 日出男 成澤 朋之
アジレント・ゲステル共催香気分析セミナー	H28.4.28	品川フロントビル	仲島 日出男 樋口 誠一 成澤 朋之
第27回食品ハイドロコロイドシンポジウム	H28.5.13	東京海洋大学 品川キャンパス	常見 崇史
第2回ケモインフォマティクス入門講座	H28.5.14	北里大学 白金キャンパス(本部・薬学部)	仲島 日出男
FTIR・ラマンユーザーズフォーラム	H28.5.18	東京コンファレンスセンター・品川	常見 崇史
第3回SBJ(日本生物工学会)シンポジウム—発酵・醸造技術を軸に生物工学を考える—	H28.5.20	東京農業大学 世田谷キャンパス(本部・短期大学部)	樋口 誠一
機器分析ユーザーズフォーラム	H28.5.27	東京アメリカンクラブ	仲島 日出男 常見 崇史
第4回ケモインフォマティクス入門講座	H28.5.29	北里大学 白金キャンパス(本部・薬学部)	仲島 日出男
日本食品工学会シンポジウム	H28.6.7	東京国際展示場 東京ビッグサイト	成澤 朋之
IoTプロジェクトフォーラム	H28.6.13	神奈川県産業技術センター	常見 崇史
平成27酒造年度全国新酒鑑評会公開きき酒会	H28.6.18	池袋サンシャインシティ	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
熱基礎セミナー2016	H28.6.21	横浜ビジネスパーク	常見 崇史
日立材料解析テクノフォーラム	H28.7.5	品川グランドセントラルタワー	常見 崇史
島津製作所 紛体測定機器ワークショップ	H28.7.26	(株)島津製作所 つくば支店	常見 崇史
平成28年度 微生物応用技術交流会 第1回酒造技術分科会	H28.8.19	栃木県産業技術センター	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
日本食品科学工学会第63回大会	H28.8.25~27	名城大学	成澤 朋之
平成28年度 第29回におい・かおり環境学会	H28.8.30~31	東京家政大学板橋キャンパス	仲島 日出男 成澤 朋之
第40回酒米懇談会	H28.9.1	滝野川会館	樋口 誠一
悪臭測定概論講習	H28.9.6	機械振興会館	成澤 朋之
日本応用糖質科学会平成28年度大会	H28.9.14~16	学校法人福山大学宮地茂記念館	常見 崇史
食品事業者のための品質管理セミナー2016	H28.9.21	大宮ソニック	富永 達矢
統計研修「統計解析ソフト『R』の基礎」	H28.9.29	総務省統計研修所	齋藤 健太
第2回IoTセミナー	H28.9.30	埼玉県産業技術総合センター	常見 崇史
H28清酒酵母・麴研究会	H28.10.18	北とびあ	樋口 誠一
平成28年度日本醸造学会大会	H28.10.19~20	北とびあ	樋口 誠一 齋藤 健太
GC-MS 経験者のための基礎・技術セミナー	H28.10.21	泉ガーデンタワー	仲島 日出男 常見 崇史

研修機関・講座名	期間	場 所	研修者
日本微生物生態学会 第31回大会	H28.10.23	横須賀市文化会館	富永 達矢
マイコン制御システム開発技術 〈Raspberry Pi編〉	H28.10.27~28	群馬職業能力開発促進センター (ポリテクセンター群馬)	飯塚 真也
味覚センサー活用セミナー	H28.10.28	飯田橋レインボービル	仲島 日出男 樋口 誠一
さいたま新技術セミナー 2016	H28.10.31	大宮ソニックシティ	仲島 日出男 常見 崇史 富永 達矢
第87回関東信越国税局酒類鑑評会技術 研究会	H28.11.1	関東信越国税局	横堀 正敏 樋口 誠一 齋藤 健太
香気成分解析セミナー	H28.11.11	コンベンションホールAP浜松町	仲島 日出男
日本官能評価学会2016年度大会	H28.11.13	日本女子大学目白キャンパス 百年低層棟	齋藤 健太
JMP体験セミナー	H28.12.7	六本木ヒルズ森タワー	成澤 朋之
MSユーザーズミーティング	H28.12.7	東京大学 本郷キャンパス 浅 野地区	常見 崇史
全国市販酒類調査品質評価(オブザー バー参加)	H28.12.8~9	関東信越国税局	樋口 誠一
AACCI日本支部第2回講演会	H28.12.15	社)日本パン技術研究所	仲島 日出男 成澤 朋之
官能評価企業部会	H28.12.22	小田急第一生命ビル	齋藤 健太
LC/MS操作研修	H28.12.22	アジレント・テクノロジー(株 本 社・八王子事業所	仲島 日出男 常見 崇史 樋口 誠一 成澤 朋之
みそ品質評価研修会	H29.1.25	北部研究所	海野 まりえ 成澤 朋之
味覚レベルアップ講座	H29.2.10	(株)味香り戦略研究所	常見 崇史 成澤 朋之
機能性表示食品セミナー	H29.3.9	幕張メッセ(日本コンベンションセ ンター)	仲島 日出男 齋藤 健太
Bio電顕セミナー	H29.3.9	かながわサイエンスパーク	常見 崇史
日本農芸化学会2017年度大会	H29.3.18~20	京都女子大学	仲島 日出男 成澤 朋之

◆職場研修

名 称	期 日	会 場	参加人数
競争的資金に係る研修会 講師:事業化支援室 巻島秀男	H28.9.7	埼玉県産業技術総合センター 6A会議室	17
競争的資金に係る研修会 講師:事業化支援室 巻島秀男	H28.9.8	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 技術相談室	9

9.2 運営委員会の開催

埼玉県産業技術総合センターの事業・研究業務の効果的な運営を図るため、外部有識者からなる「埼玉県産業技術総合センター運営委員会」を1回開催し、業務内容等を検討した。

9.2.1 開催状況

(1) 第1回運営委員会

- ① 日 時:平成 28 年 10 月 5 日(水)
- ② 場 所:埼玉県産業技術総合センター 5階交流サロン
- ③ 議 題 「SAITEC の本年度の活動経過報告について」
- ④ 参加人数
運営委員 7人 埼玉県 13人 計 20人

9.2.2 運営委員

(50音順)

伊藤鉄工(株)	代表取締役	伊藤 光男 氏(副委員長)
(株)和幸製作所	代表取締役	小川 逸郎 氏
日本工業大学	産学連携起業教育センター長	古閑 伸裕 氏
埼玉大学	理事・副学長	佐藤 勇一 氏(委員長)
上板塑性(株)	代表取締役	武山 睦子 氏
芝浦工業大学	教授	戸澤 幸一 氏
(国研)産業技術総合研究所	中小企業連携室長	橋本 亮一 氏
(株)松本醤油商店	代表取締役	松本 公夫 氏